

国語

第5学年

育成を目指す資質・能力

【表現力】【協調性・柔軟性】【郷土愛】

水呑町の人々を学校元気大賞にすいせんします

～説得力のある構成を考え、すいせんスピーチをしよう～

【単元の概要】

総合的な学習の時間や日常生活での地域の方との関わりの中で、水呑町を支えてくださる人々をみんなに紹介したいという思いをもち、福山市教育委員会が主催している「福山学校元気大賞」に推薦します。水呑町の「学校元気大賞」に推薦する人を選ぶために、説得力のある話の内容や構成、話し方を学習していきます。

◆単元の目標

「学校元気大賞」推薦するという目的に応じて、事柄が明確に伝わるように話の内容や構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話す力を身に付ける。

◆単元の計画（全6時間）

【課題発見（総合的な学習の時間）】

・福山市教育委員会が主催している「福山学校元気大賞」に推薦するため、「学校元気大賞」という取組があることを知り、水呑町の人々を「学校元気大賞」に推薦したいという思いをもつ。

【課題の設定（1時間）】

・「学校元気大賞」に応募するスピーチVTRを制作するため、友達に向けて仮の推薦スピーチを行う。その中で、推薦の難しさを感じ、説得力のあるスピーチについて学びたいという課題を設定する。教科書のスピーチ例から説得力のあるスピーチについて考える。

【情報収集（総合的な学習の時間）】

・推薦する人物を決め、調べ活動を行う。

【整理・分析（3時間）】

・「学校元気大賞」の推薦スピーチの内容や構成を考え、スピーチメモを作る。
・教科書のスピーチ例を参考に、自分のスピーチにおける話し方の工夫を考える。

【まとめ・創造・表現（1時間）】

・相手に伝わる話し方を意識して、友達同士でスピーチ練習を行う。
・スピーチ練習をしている様子をビデオ撮影し、自分の話し方を客観的に見ながら改善していく。

【実行（総合的な学習の時間）】

・「学校元気大賞」に推薦するスピーチVTRを作成する。

【振り返り（1時間）】

・スピーチVTRを見て頂いた地域の方の声を紹介する。「学校元気大賞」推薦の学習を通して身に付けた力や意識して取り組んだことを振り返り、自分の学びを確認する。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
国語	1	じどう車ずかんをつくろう 【説明文】「くらべてよもう じどう車くらべ」
	1	よく見てかこう しらせたいな 見せたいな
	2	なるほど説明カードを書こう 【説明文】「しかけカードの作り方」
	2	未来の道具を大発明！～組み立てを考えて、はっぴょうしよう～
	3	食べ物のひみつをしょうかいします～食べ物びっくりブックをつくろう～ 【説明文】「すがたをかえる大豆」
	3	めざそう！話し合い名人～進行を考えながら、話題にそって話し合おう～
	4	リーフレットでクラブ活動を紹介しよう 【説明文】「アップとルーズで伝える」
	4	物語のおもしろさを読書新聞で発信しよう 【物語文】「ごんぎつね」
	5	情景描写のたくみな仕かけを読み解こう 【物語文】「大造じいさんとガン」
	6	未来100NEN宣言！～意見を聞き合って考えを深め、意見文を書いて発信しよう～
総合的な学習の時間	3	食べ物調べ隊～水呑町のいちじくのよさを伝えよう～
	4	わたしたち水呑調査隊～綿花を通して水呑町のよさを知ろう～
	5	わが町！水呑じまん！～地域の魅力を伝えよう～
	6	HAPPYスマイルプロジェクト～人とのかかわり つなげる住民の輪～

水呑小学校「課題発見・解決学習」HP アドレス

<http://www.edu.city.fukuyama.hiroshima.jp/shou-minomi/>

国語

第5学年

育成を目指す資質・能力

【表現力】【主体性・積極性】

ヌマクマ 春の本まつり♪ ようこそ5の2書店へ！

～本にキャッチコピーをつけて、2年生に薦めよう～ 教材文「千年の釘にいどむ」

【単元の概要】

図書館補助員の先生からの「2年生に本を読む児童が少ないから何かできないか」という依頼をきっかけに、2年生におすすめの本を紹介して、本に親しんでもらいたいという課題を設定し、「千年の釘にいどむ」の教材を通して、伝えたいことを相手が読んでみたいと思えるような言葉や文章で表す工夫を学びます。その学習を生かして、グループで選んだ本のキャッチコピーを考え、2年生を招いて本を紹介する「ヌマクマ 春の本まつり♪ ようこそ5の2書店へ！」を開きます。

◆単元の目標

文章の内容を的確に押さえて要旨を捉えながら読む力を身に付けるとともに、目的に応じて複数の本や文章などを選んで比べて読む力を身に付ける。

◆単元の計画（全5時間）

【課題の設定（特別活動+1時間）】

- ・図書館補助員の先生から、「2年生に本を読む児童が少ないから何かできないか」という依頼を受け、2年生に本を読んでもらうためには、どのような方法で本を紹介するのがよいかを考える。
- ・書店の写真をしながら、本のよさを紹介するためにポスターや本の帯、POP等を工夫していることを知り、それらには、短い言葉で本を紹介しているところがあることに気付く。
- ・本にキャッチコピーを付けて2年生に紹介するというゴールを設定し、選んだ本にキャッチコピーを付けるという学習の見通しをもつ。

【情報収集（2時間）】

- ・キャッチコピーとして短い言葉で文章の内容をまとめるために「千年の釘にいどむ」を読み、伝えたいことを相手が読んでみたいと思えるような言葉や文章で表す工夫を学び、文章の内容や要旨を捉える。
- ・「千年の釘にいどむ」のキャッチコピーを考え、友達のキャッチコピーと比べながら表現の工夫を考える。

【整理分析（1時間）】

- ・グループごとに薦める本のテーマを決め、本を選ぶ。
- ・2年生を引き付けるようなキャッチコピーにするためにはどんな言葉を使うとよいのか考え、キャッチコピーを考える。

【まとめ・創造・表現（1時間+家庭学習）】

- ・各自でキャッチコピーの案を考え、グループで練り合っけてキャッチコピーを決定する。

【実行、振り返り（特別活動）】

- ・本やキャッチコピーの配置を工夫して「5の2書店」を設置し、2年生を招待して、「ヌマクマ春の本まつり♪」を開催する。
- ・2年生の反応やアンケートを基に振り返り、キャッチコピー以外にも本のよさを広げる方法はないかと意欲をもつ。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
国語	1	「がっこうしょうかいだいさくせん！！ ～説明する文章を読んで、校内を紹介するカードを作り、新1年生に伝えよう～」 説明文 じどう車くらべ
	2	「教えてあげたい！社会見学の日～じゅんじょに気をつけて、わかりやすくつたえよう～」 説明文 どうぶつ園のじゅうい
	3	「おすすめの遊びを6年生に伝えよう ～説明文の構成を学んで、遊びの種類と楽しさを伝える文章に活かそう～」 説明文 言葉で遊ぼう こまを楽しむ
	6	「アートステージをつくろう！～おすすめの絵を鑑賞文で紹介しよう～」 説明文 『鳥獣戯画』を読む
総合的な学習の時間	3	「大好き千年！～千年の町じまんをしよう～」
	4	「クリーン大作戦」

千年小学校「課題発見・解決学習」HP アドレス

<http://www.edu.city.fukuyama.hiroshima.jp/shou-chitose/>

算数

第6学年

育成を目指す資質・能力 【コミュニケーション力（表現力）】【主体性】

円の面積「調べてみよう！古墳の広さ」

【単元の概要】

総合的な学習の時間に、地域の円墳について調べたことをきっかけに、「円墳の広さはどのようにして求めればいいのか」、「社会科で学習した大仙（仁徳陵）古墳は地域の円墳の何倍ぐらいの広さなのだろうか」という疑問をもち、円の面積の求め方を考えていきます。また、単元末には、求めた円墳、前方後円墳等の面積を基に、社会科の学習と関連付けて「古墳の広さランキング表」を作成します。

◆単元の目標

既習の平行四辺形（長方形）の面積の求め方を基に円の面積の求め方を考え、円の面積を計算によって求めることができる。

◆単元の計画（全6時間）

【課題の設定（1時間）】

・「円墳の広さはどのようにして求めればいいのか」、「大仙（仁徳陵）古墳は地域の円墳の何倍の広さなのだろうか」という疑問から、「円の面積の求め方を考える」という課題を設定する。

【課題の解決（3時間）】

〈解決方法を考える〉

- ・円墳の形を円と見なして面積の求め方を考える。実際の半径の円はかけないので、方眼紙にかかれた円の面積の求め方を考える。円の内側にある正方形の数を数えたり、円周上にある面積を移動して一つの正方形と見なして数えたりする活動を通して、既習の図形の面積の求め方を利用して公式を作る必要性をもたせる。
- ・円を扇型に細かく等分して並べ替え、既習の平行四辺形や長方形の面積の求め方を利用して、円の面積を求める公式を考える。
- ・前方後円墳などの様々な面積を求めるために、円の公式を利用して、様々な円、扇型、円で構成されている複合図形の面積の求め方を考える。

【情報の収集・課題の解決（1時間）】

・グループで、円墳の周囲を歩き、歩幅を基に円周の長さを求める。全グループの円周の長さの平均値から、円周の長さを決定し、円周÷円周率で直径の長さを求める。

【まとめ・表現・振り返り（1時間）】

・地域の円墳、大仙古墳等の面積、大仙古墳が地域の円墳の何倍の広さかを求めた後、「古墳の広さランキング表」を作成する。また、広さの違いから、「同じ古墳でも、なぜこんなにも広さが違うのだろうか」という社会科の既習事項と関連付けるなどに、この単元を振り返る。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
算数	1	かたちあそび 「かたちランドのひみつを見つけよう」
	2	三角形と四角形 「かたちをしらべよう」
	3	あまりのあるわり算のしかたを考えよう 「野菜作り計画を立てよう」
	4	面積 「広さを表そう」～われら「広さはかりたい」～
	5	単位量あたりの大きさ 「こみぐあいなどの比べ方を考えよう」
生活	1	いっしょにいと あんしん
	2	あそびのたつ人 あつまれ
総合的な学習の時間	3	大きくなったぼく・わたしを見つめて～食を通して～
	4	今津の自然を守るう
	5	みんなにやさしい社会～めざせ！元気でやさしい今津小～
	6	自分の生きる伝説づくり～人・町・歴史が私を変える～

今津小学校「課題発見・解決学習」HP アドレス

<http://www.edu.city.fukuyama.hiroshima.jp/shou-imazu/>

国語

第5学年

育成を目指す資質・能力

【論理的思考力・判断力・表現力】【知識・技能】【協働する力】

目指せ！最高学年

～4年生に委員会活動のよさをリーフレットで伝えよう～

【単元の概要】

校内における高学年としての役割を次年度の5年生に伝えるという特別活動（児童会活動）と関連付けて、「4年生に委員会活動のよさをどのように伝えるか」を考えます。明確になった目的や相手に応じて、児童は、リーフレットを伝達手段として選択し、どのような内容がふさわしいか、主体的に話し合いを進めます。また、構成や文章表現の工夫等についても主体的に考え助言し合いながら、協働的に各委員会のリーフレットを作成していきます。

◆単元の目標

- ・ 委員会活動について伝えたいことを明確に表現するため、リーフレットの内容、構成や表現の効果を考えることができる。
- ・ リーフレットが書く目的や意図に応じたものになっているかどうかという視点で検討し、助言し合うことができる。

◆単元の計画（全11時間）

【単元前（※学級活動）】

- ・ アンケート結果から委員会の意義を理解していないという課題意識をもち、委員会活動のよさを知ってもらうために、4年生に伝える内容・方法について話し合う。

【課題の設定（1時間）】

- ・ 収集した様々なリーフレットから、学習のゴールイメージをもち、学習計画を立てる。

【情報の収集、整理・分析（5時間）】

- ・ 教材文のリーフレット例から、リーフレットの書き方を学ぶ。
- ・ 各委員会で、伝えたいことを出し合い、リーフレットの割り付けを構想して、必要な情報を分担して収集する。
- ・ 分担して収集した情報を基に、下書きする。下書きした記事を持ち寄り、リーフレットに書く内容を整理し、必要な情報を再取材したり記事を修正したりする。

【まとめ・創造・表現（4時間）】

- ・ 同じ委員会のメンバーで読み合い、推敲する。
- ・ 教師のモデルリーフレットに対する助言を考える学習活動を通して、推敲の視点や助言の仕方を学ぶ。
- ・ 異なる委員会のグループで交流し、目的や意図に応じた構成や表現について助言し合う。
- ・ 助言し合ったことを基に、リーフレットを修正し、仕上げる。

【実行（※学級活動）】

- ・ リーフレットを基にしながら、委員会活動について4年生に伝える。4年生から感想をもらう。

【振り返り（1時間）】

- ・ 「意図が伝わるリーフレットになっていたか」、「今後改善を加えるとすればどのような点か」について交流するとともに、資質・能力の「論理的思考力・判断力・表現力」「協働する力」の視点により、振り返りを書く。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
国語	1	「おはなしたまてばこ」～おきに入りのえほんをほいくえんのともだちにしょうかいしよう～
	1	「いきものみのまもりかたくいず」たいかいをひらこう～2ねんせいさん、ちゃれんじしてね～
	2	わくわくおもちゃスクール～1年生さんに手作りおもちゃについて教えてあげよう～
	3	原のまちをしょうかいし隊！ ～となりの小学校3年生にまちのおすすめスポットをビデオレターでしょうかいしよう～
	4	生き物助け合いQ&Aカード～共生している生き物について、原っ子にカードで紹介しよう～
	4	原お守り隊！～地域の人に役立つ防災情報をカレンダーで紹介しよう～
	5	もっとお米を知ろう！プロジェクト～お米のパワーをスペシャル番組でPRしよう～
	5	米米ありがとう新聞～米づくりについて恩人に新聞で伝えよう～
	6	変えていこう！ふるさと呉市レベルUP！～呉市長さんに意見文を提出しよう～
	6	ミッション！次世代につなぐメッセージを発信～映画「ヒロシマのうた」の予告編で伝えよう～
特支	ようこそ「なかよし市へ」～なかよし市で野菜をアピールしよう～	
総合的な学習の時間	3	原のひみつを見つけ隊！～絵地図「原のまち」をとなりの小学校3年生にとどけよう～
	4	原のまちを守り隊！～原の防災マップを作ろう～
	5	作ろうお米！メイドイン原～原小の米作りの伝統を守り、4年生に引き継ごう～
	5	こちら「原っ子米米カフェ」～お米料理をお世話になった人にふるまおう～
	6	盛りあが（阿賀）ろう！～実現！原っ子のまちづくり～

国語

第4学年

育成を目指す資質・能力

【自律的活動能力】【コミュニケーション能力】

ごんぎつね ～ぼくのわたしの劇「ごんぎつね」を創ろう～

【単元の概要】

劇づくりに向けて、①背景・大道具②音響③小道具・衣装④演技(表現)を創るために必要な情報を「ごんぎつね」の教材文から見付けていきます。人物の言動とその心情の変化に着目して読むことにより、一読後の一面的な感想から、ごんや兵十の切ない思いを推し量る深い読みへと変化させていきます。

◆単元の目標

- ・ 叙述を基に、登場人物の性格や気持ちの変化、その原因を読み取ることができる。
- ・ 劇を創るために「ごんぎつね」を読み、考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くことができる。

◆単元の計画(全11時間+朝読書の時間+総合的な学習の時間+特別活動《学校行事》)

【課題の設定(1時間)】

- ・ 学習発表会が近づいてきて、今年もよりよい劇を披露したいと児童が思っている中、劇化された「モチモチの木」を視聴し、物語を自分たちで劇化することに興味・関心をもつ。自分たちの「ごんぎつね」を創ることを意識する。演じるために、登場人物やあらすじを把握するとともに、人物像や心情の変化を捉え、台本を検討することを意識して読む計画を立てる。
- ・ 物語で一番盛り上げる場面、そこで何を伝えたいといけなかなどを捉える必要があることに気付く。

【情報の収集、整理・分析(8時間)】

- ・ 思考ツール(人物関係図・心情曲線)を活用し、中心となる人物の気持ちの変化のきっかけになる出来事は何か、その出来事とほかの人物はどのように関わっているかを考えていく。
- ・ 場面の移り変わりに注意しながら読み、物語全体を通した人物の性格や人物の気持ちの変化を捉える。

【まとめ・創造・表現(2時間)】(総合的な学習の時間と関連)

- ・ 自分たちの「ごんぎつね」に対する最初の感想と学習後の感想を基に劇の台本の内容を考えることで、一人一人が感じたことを共有し合う。学習前と学習後の登場人物への思い(解釈)を対応しながら考える。
- ・ 学習した内容を自分たちの「ごんぎつね」の劇の表現活動(音響、照明、背景づくり、登場人物の動きや台詞の言い方など)に生かす。
- ・ 自らの考えを表現するとともに、仲間と協働して劇を作り上げていく。

【実行(学校行事)】

- ・ 学習発表会で発表する。

【振り返り】

- ・ 日常の読書活動において、叙述を根拠とした読書感想メモを書こうとする意欲をもつ。

【単元後】(※学級だより)

- ・ 劇を創ることを通して考えた作品のよさ、一人一人の感じ方を共有できる学びの面白さを発信する。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
国語	1	お気に入りののりものを ほいくえんのともちに しょうかいしよう 1年 説明文 いろいろなふね
	2	1年生に、手作りおもちゃの作り方やあそび方を分かりやすくせつ明しよう 2年 「おもちゃ教室」をひらこう
	3	はたらく犬リーフレットを作り、地域の人に知ってもらおう 3年 説明文 もうどう犬の訓練
	4	けごや小学校新聞を作ろう 4年 みんなで新聞を作ろう
	5	「ありがとう集会」で私たちの思いを伝えよう 5年 六年生におくる字をすいせんしよう
	6	警固屋の町づくりについて提案しよう 6年 説明文 町の未来をえがこう 町の幸福論-コミュニティデザインを考える
算数	1	すうずぶろっくでかんがえる 1年 たしざん(1)
	3	もようづくりにちょうせん 3年 円と球
理科	4	モーターカーレースをしよう 4年 電気のはたらき
総合的な学習の時間	4	「警固屋の町の安全について考えよう～『安全な警固屋の町にしよう』プロジェクト～」
	6	「未来を切り拓こう～警固屋の町の歴史と今と未来『警固屋の町活性化プロジェクト』～」

理科

第5学年

育成を目指す資質・能力

【課題発見・解決力】【チャレンジ精神】【自己評価力】

「台風と気象情報」

【単元の概要】

単元の導入で、台風が日本に上陸した様子の動画を視聴することによって、自分たちの身を守るために「台風」に備えて自分たちに何ができるか考えよう。」という課題を設定します。台風への備えを考えるためには、気象情報や台風の特徴を知らなければならないので、気象情報の種類、台風の発生場所や進路、天気の変化について、インターネット、新聞、書籍を活用して情報を収集し、整理・分析していきます。理科で調べたことを基に、他教科等と関連を図り、自分たちにできる台風の備えを考え、そのアイデアを学級で交流します。

◆単元の目標

日本の夏から秋にかけて、南の海上から北上してくる台風の動きや進路について、気象情報を活用してその特徴を捉えてまとめるとともに、台風のもたらす大雨や風による災害等を新聞やインターネット等によって調べる活動を通して、台風の特徴やそれに伴う災害についての考えをもつことができる。

◆単元の計画（全6時間）

【課題の設定（1時間）】

・台風が日本に上陸した様子の動画を視聴し、台風の威力の大きさや生活への影響の大きさを知る。自分たちが住んでいるところにも台風が来る可能性があると考え、「自分の身は自分で守らなければならない。」「できるだけ被害を小さくしたい。」という思いをもつ。どんなことが分かれば、台風の被害が小さくなるか出し合い、学習計画を立てる。本単元の学習を生かして「台風に備えて自分たちに何ができるか考えよう。」という課題を設定する。

【情報の収集（2時間）】

・台風はどこでどのようにして発生するのか、図書室の図鑑やインターネットを活用して調べる。
・テレビ等で気象情報は見たり聞いたりしているが、詳しいことは分からないので、気象情報にはどんなものがあり、どんな意味があるのかを調べる。調べたことは、全体で交流し、台風や気象情報についての知識を増やすようにしていく。

【情報の収集、整理・分析（1時間）】

・台風の進路と台風の接近にともなう天気の変化について調べる。授業の始めに、どんな資料があればよいか、意見を出し合い、情報収集に必要な資料を選択する。過去の台風の進路の情報を収集し、月別の台風の進路を分析していく。また、雲画像と天気の画像から、台風の位置と天気の関係について分析していく。

【まとめ・創造・表現（1時間）】

・学習してきたことを基に「台風に備えて自分たちに何ができるか考えよう。」という課題を、学級活動や家庭学習も活用しながら解決する。記述については、3段階のルーブリック指標を基に評価をする。

【振り返り（1時間）】

・資料収集の方法、分析の仕方、まとめ方等、自分の学び方を振り返るとともに、新たな課題を設定する。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
理科	3	「電気で明かりをつけよう」
	3	「じしゃくのふしぎをさぐる」
	4	「とじこめた空気や水」
	4	「ヒトの体のつくりと運動」
	5	「ふりこのきまり」
	6	「水よう液の性質」
	6	「てこのはたらき」
総合的な学習の時間	3	「わたしたちの町 竹原」
	4	「竹原PR大作戦」
	4	「みんなが笑顔になる町 竹原」
	6	「受けつごう竹原小の伝統Ⅱ」
	6	「竹原の未来を考えよう」

国語

第6学年

育成を目指す資質・能力

【基礎・基本の力】【コミュニケーション能力】

ブックトークをしよう！ ～ 一人の作家を追って ～

【単元の概要】

本校では、「子ども読書の日」に、保護者ボランティアがブックトークをしてくださっています。そのブックトークは児童に大好評で、「自分もブックトークができるようになりたい。」という憧れを抱いています。そこで、導入時に「作家〇〇さんの本を紹介するブックトークをしよう！」というパフォーマンス課題を設定し、単元全体の見通しをもたせます。児童は、普段からシリーズ物の読書に親しむとともに、自分が選んだ作家について調べたり、シンキングツール（ベン図）を活用して同じ作家の本を比較したりして、共通する作品の特徴（登場人物、人間関係、出来事、作品構造等）やテーマ（主題）に気付き、主体的にブックトークに取り組んでいきます。単元のポートフォリオ評価表を基に、児童は毎時間の振り返りをして、学びをつなげ深めていきます。

◆単元の目標

登場人物の相互関係や作品構造（起承転結）を捉えるとともに、複数の作品を比較し、共通する作品の特徴やテーマを捉え、表現することができる。

◆単元の計画（全12時間）

【課題の設定（1時間）】

- ※年間の読書指導計画に、児童がシリーズ物の読書に親しむ期間を設定・実施する。
- 保護者ボランティアのブックトークを想起させ、活動への意欲をもつとともに、パフォーマンス課題に対して自分が紹介したい作家を決め、計画的に読書を進める。

作家（ ）さんの本を紹介するブックトークをしよう！

【情報の収集、整理・分析（6時間）】

- 木村裕一作「風切るつばさ」を読み、登場人物の相互関係や作品の構造等を説明する文章を書く。
- 木村裕一作「あらしのよるに」を読み、登場人物の相互関係や作品の構造等を説明する文章を書く。

【整理・分析、まとめ・表現（1時間）】

- 2つの作品を比較して読み、作品の特徴や共通するテーマ等に関する自分の考えを書く。グループや全体で考えを交流し合い、深める。

【情報の収集（※常時活動）】

- 自分で同一作者の他の作品を読む。

【整理・分析（3時間）】

- 学習したことを生かして、ブックトークの原稿を完成させる。

【実行（※朝の会）】

- 朝の会でブックトークを行い、発表の後、感想を交流し合う。

【まとめ、振り返り（1時間）】

- 学習を振り返り、感想を書く。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
国語	1	おはなしをつくろう
	2	動物のひみつクイズをつくろう 「ビーバーの大工事」
	3	読んで、感そうを伝えよう 「自然のかくし絵」
	4	伝えよう！くらしの中の和と洋 「くらしの中の和と洋」
	5	読んで、考えたことを伝え合おう 「大造じいさんとガン」
算数	2	かさ
	6	文字と式
総合的な学習の時間	6	吉名PRプロジェクト② ～吉名に修学旅行生や観光客を誘致しよう！～

算数

第 4 学年

育成を目指す資質・能力 【思考力・表現力】【合意形成能力】【自らへの自信】

「垂直・平行と四角形」 ～近道は1本しかない?～

【単元の概要】

広島駅からマツダスタジアムまでの地図を示し、広島駅からマツダスタジアムまで行くときの近道を考えることを通して、同じ道のりになる道順が複数あるのではないかと疑問をもたせます。その地図から、さまざまな四角形を見付け、それらの四角形の秘密を調べたら、疑問が解決できるのではないかと見通しをもたせ、課題を設定します。単元の中では、既習の三角形の分類の視点や垂直・平行の関係に着目して四角形の特徴を明確にしていき、単元末に学習したことを基にして課題を解決していきます。

◆単元の目標

図形についての観察や構成などの活動を通して、図形の構成要素及びそれらの位置関係に着目し、図形についての理解を深めることができる。

◆単元の計画（全 13 時間）

【課題の設定（1 時間）】

- ・広島駅からマツダスタジアムまで地図を見て、「地図の中に見える図形の秘密を調べる」という学習課題を設定する。

【情報の収集（3 時間）】

- ・地図上の道路の交わり方から垂直、平行の定義や性質を理解し、垂直、平行な直線をかく。
- ・長方形や正方形の定義や性質を使って、地図上に長方形や正方形をかく。

【整理・分析（6 時間）】

- ・地図上のいろいろな四角形を辺の平行関係に着目して分類する。
- ・台形、平行四辺形、ひし形の定義や性質を調べ、まとめる。
- ・平行四辺形、ひし形の定義や性質に基づいて作図の仕方を考え、説明する。
- ・三角形、四角形の定義や性質を使って、ひし形を対角線で切ったときにできる三角形について説明する。

【まとめ、表現（1 時間）】

- ・広島駅からマツダスタジアムまでの地図から平行四辺形を見付け、平行四辺形の性質を使って、同じ道のりであることを説明する。

【まとめ、振り返り（2 時間）】

- ・形も大きさも同じ四角形を敷き詰める算数的活動を通して、図形についての見方や感覚を豊かにする。
- ・身の回りの物から様々な四角形を見付け、その図形について考えることを通して、四角形の定義や性質を振り返る。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
算数	1	大きいかず
	2	10000までの数
	2	かさ
	3	重さ
	4	折れ線グラフ
	5	割合
	6	速さ
総合的な学習の時間	3	人とつながって～ふれあい人発見
	4	守ろう玖波の自然を～環境を守ろう
	5	地産地消ふるさと学習～玖波の自慢の食材を見つけよう！～調べよう！～伝えよう！
	6	玖波の自慢を見つけよう！調べよう！

社会

第4学年

育成を目指す資質・能力

【課題発見力】

【追求力】

【評価力】

「ごみのしよ理がユウリョウ(有料?優良?)化」

【単元の概要】

家庭ごみや企業ごみなどのごみの処理について調べる。その上で、東広島市が家庭ごみの有料化を検討していることを知り、「なぜ東広島市は、家庭ごみを有料化しようとしているのだろう」という学習課題を設定する。課題の解決のために、調査・見学を通して東広島市のごみ処理の現状やごみの減量化の取組について学ぶ。まとめ・振り返りの場面では、「ごみの有料化」について考察したことを基に、これからのごみ対策について自分の意見をまとめ、伝える活動を行う。

◆単元の目標

廃棄物の処理に関わる対策や事業が、地域・市・県の協力を得ながら計画的、協力的に進められていることや、それらが自分たちの健康的な生活や良好な生活環境を守るために欠かせないことを理解し、地域の環境保全に対する意識を高めることができる。

◆単元の計画（全12時間）

【課題の設定（3時間）】

- 家庭ごみや企業ごみについて「どんなことを調べればよいのか」、「どこで調べればよいのか」、「どのように調べればよいのか」この三つの視点をもって様々な場所の調査・聞き取りを行い、調べた結果を比較することで、ごみの種類や量が異なることや、事業ごみが有料であることに気付く。
- 東広島市で「家庭ごみの有料化」が検討されていることを知り、これまで無料だった家庭ごみがなぜ有料になるのか疑問に思い、学習課題「東広島市では、なぜ家庭ごみを有料化しようとしているのだろう。」を設定する。

【課題の追求（6時間）】

- 東広島市のごみ処理の現状について理解する。
- ごみの収集やごみの処理にかかる費用や人々の工夫や努力を理解する。
- 東広島市役所が行なっているごみ減量化の施策について聞き取り調査を行う。

【学びの深化（2時間）】

- これまでの学習、家庭での聞き取り、ごみ処理の現状、東広島市の意図、実生活への影響等を表にまとめたり比較したりしながら「家庭ごみの有料化」についての考えをまとめる。
- 「家庭ごみの有料化」について、調べたことを基に意見交流を行い、これからのごみ対策について自分の意見をもつ。

【まとめ・振り返り（1時間）】

- 学んだことを整理して、国語や総合的な学習の時間を利用して市役所の方に手紙を書く。
- 市役所の方からの手紙の返事を読む。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
国語	2	まちのすてきをつたえよう ～名人をしょうかいしよう～
	5	ようこそイーハトーブ展へ ～注文の多い料理店～
社会	5	東広島を元気に！地域を支える「中国新聞」「プレスネット」
	6	選挙から見る過去と今
算数	1	おみせやさんへいこう ～おおきい かず～
	2	まちのすてきをつくろう ～はこの形～
	3	美しい三角形でシンボルマークをつくろう ～三角形と角～
	4	わが家の『ふえたりへったり』調査隊 ～変わり方調べ～
	5	てがかりをもとに謎を解け！面探偵5-2 ～面積の求め方を考えよう～
理科	3	おもちゃ王選手権（磁石編） ～磁石の性質～
	5	こちら黒瀬川防災センター ～流れる水の働き～
生活	1	さいじょうあそびをつくろう ～むかしからつたわるあそびをたのしもう～
総合的な学習の時間	3	高台誕生物語 ～新・高台誕生物語を創ろう～
	4	西条の水と龍王山① ～西条の水のナゾを追え！～
	5	はなマル西条② ～酒造りの秘密を探れ！！～
	6	伝えよう 37代目へ！

理科

第5学年

育成を目指す資質・能力

【課題発見・解決力】 【自らへの自信】

「電流がうみ出す力」

【単元の概要】

電磁石を使った魚釣りゲームを通して、「力の強い電磁石を作って自分の釣り竿に取り付けたい。そのために、電磁石の仕組みや性質、強さの秘密を知りたい。」という願いをもち、電流の働きを条件制御しながら調べていきます。また、単元末でのものづくり（力の強い電磁石の釣り竿を作る）を通して、電流の働きや電磁石の変化の規則性についての考えを深めていきます。

◆単元の目標

電磁石の変化や働きをそれらにかかわる条件に目を向けながら調べ、見いだした問題を計画的に追究したりものづくりをしたりする活動を通して、電流の働きや電磁石の強さの変化の規則性についての見方や考え方を養う。

◆単元の計画（全 14 時間）

【課題の設定（1 時間）】

・魚釣りゲームを通して、スイッチを入れたり切ったりすると、魚をくっつけたりはずしたりできる電磁石の釣り竿に興味をもち、電磁石の釣り竿を作りたいという願いをもち、その願いをかなえるために、電磁石の導線に電流を流したときにおこる現象に興味・関心をもち、自ら電流の働きを調べようとする。

【情報の収集、整理・分析、まとめ（3 時間）】

・コイルに鉄心を入れ、電流を流すと鉄心が鉄を引き付けることを知る。
・磁石と電磁石のちがいに興味をもち、電磁石の性質を磁石の性質と比較しながら調べ、電磁石の性質を理解する。

【実行、課題の設定（2 時間）】

・電磁石を使った釣り竿づくりの設計図をかく。
・電磁石を使って釣り竿を作り、釣りゲームをする。
・大きく重い魚が釣れなかったことから、電磁石の力を強くするにはどうすればよいかという新たな課題を設定する。

【情報の収集、整理・分析、まとめ（5 時間）】

・電磁石の強さに関わる要因を前学年の学習や電磁石を作った体験を基に考え、仮説を立て、条件制御しながら調べる。

【実行、振り返り（3 時間）】

・これまで学習してきたことを振り返りながら、力の強い電磁石の釣り竿になるように、設計図を修正する。
・電磁石の釣り竿を作り直し、釣りゲームをする。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
算数	1	ひきざん *くり下がりのあるひき算
	2	形をしらべよう ~図形の国からのちょうせんじょう~
	3	わり算を考えよう (あまりのあるわり算)
	6	比例「変わるもの見つけ」
理科	4	とじこめた空気と水
生活	2	もっと なかよし まちたんけん ~たかやの ふしぎ はっけんたい~

高屋西小学校「課題発見・解決学習」HP アドレス

http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/school/takayanishi_sho/

体育

第1学年

育成を目指す資質・能力

【主体性】【思考力・判断力・表現力】

ちびっ子忍者隊！ポポロの森に参上だ！

多様な動きをつくる運動遊び

【単元の概要】

地域の方からのお手紙等をきっかけに、進んで運動することの大切さに気付いた子供たちが「できるようになりたい」、「やってみたい」運動遊びを選び、体験することを通して、基本的な動きを身に付けていきます。動きの特徴からそれぞれの動きを忍者の術とし、「ちびっ子忍術」を身に付けていくというストーリー性をもたせ、意欲的に学習を進めていくことができるようにします。また、活動の場を変えながら運動遊びを行い、単元の後半では、お世話になった6年生を招待して「忍術発表会」を開き、多様な動きをつくる運動遊びのもつ楽しさを味わうことを通して、体育の授業で楽しく行った運動遊びを生活の中で活用し発展させようとする態度を育成します。

◆単元の目標

- ・体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きができる。
- ・多様な動きをつくる運動遊びに進んで取り組み、きまりを守って仲良く運動をしたり、場の安全に気を付けたりすることができる。
- ・多様な動きをつくる運動の行い方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。

◆単元の計画（全9時間）

【課題の設定（1時間）】

- ・「元気よく遊ぶ子どもを見かけなくなった。」という地域の方からのお手紙や中学生のお話、また新体力テストの結果等から、数年前と比べて子供たちの外遊びが減少したり、運動能力が低下したりしていることに気づき、それらが及ぼす様々な影響について考えることで、運動の大切さを自分事として捉える。
- ・日頃の遊びでの困り感や自分が「できるようになりたい」と思うことについて交流し、それらの課題を解決するために、やってみたい運動遊びを選び、運動遊びの場をつくりたいという課題をもつ。

【情報の収集、整理・分析（4時間）】

- ・運動遊びを行う際の約束、用具の運び方、場の準備の仕方や準備運動、感覚づくりの運動遊びの行い方を知り、友達や先生と一緒に場の準備をしたり、運動遊びをしたりする。
 - ①準備運動：よく使う部位（関節）を短時間で伸長する。
 - ②感覚づくりの運動遊び：クマ歩き、アザラシ歩き、サル歩き、かえるの足うち、うさぎ跳び等
 - ③基本的な動きを身に付けるための運動遊び（忍術）：片足立ちの術、ジグザグ走りの術、輪回しの術 等

【整理・分析（1時間）】

- ・ペアやグループで、友達と一緒によい動きを見付けたり取り入れたりしながら、繰り返し遊ぶことを通して、運動遊びを楽しみながら行うよさに気付く。

【実行、新たな課題の発見（1時間）】

- ・これまでに行った運動遊びを自然の中（ポポロの森）で行い、運動遊びの場と特徴のつながりを考え、いろいろな運動遊びの仕方を見付けたり、工夫したりする。

【情報の収集、整理・分析（1時間）】

- ・運動遊びの場と特徴のつながりを生かして作ったコース（忍術道）で、友達や先生と一緒に運動遊びを行う。

【実行、振り返り（1時間）】

- ・忍術道での運動遊びを行う中で、特に動きを高めた児童を紹介する「ちびっ子忍術発表会」を開き、友達のよい動きを見付けて真似しながら、様々な運動遊びを楽しみながら行うよさを実感する。

【特別活動】6年生を「ポポロの森 忍者ランド」へ招待し、一緒に楽しく運動遊びを行う。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
国語	1	よんでよんで わたしのだいすきなほん 「おとうとねずみチロ」
	2	知らせたい！名人のすごわざ・とくいわざ 「名人をしょうかいしよう」
	3	めざせ！要約マスター 「もうどう犬のくんれん」
	4	家庭ファースト！「Let's 防災」ポスターをつくろう！「目的や形式に合わせて書こう」
	5	比べて発見！書き手の意図を読み取る 「新聞記事を読み比べよう」
算数	2	めざせ！買い物名人！ 「たし算とひき算のひっ算（2）」
	5	面積の求め方の共通点を見付けよう 「面積」
生活	2	わくわくおもちゃランドへようこそ！ 「うごくうごくわたしのおもちゃ」
総合的な学習の時間	3	まちのすてきを見つけ隊② ～調べ隊！地域のすてきな人～
	4	Let's try 防災 ～やってみよう！伝えよう！ぼくらの手作り防災訓練～
	6	四季が丘未来づくりプロジェクト ～ふるさとのために私たちにできること～

算数

第3学年

育成を目指す資質・能力 【思考力・表現力】 【主体的に学ぶ力】 【人間関係形成力】

分数 『クリスマスリースに必要なリボンの長さは何m?』

【単元の概要】

単元の導入で、図画工作科でクリスマスリース作りをすることを知り、そのリース作りに必要なリボンの長さ求めるという課題を設定します。具体物や図等を用いて分数の意味や大きさについて考えることを通して、分数は、等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表すのに用いられることを理解していきます。単元末に各班のリース作りに必要なリボンの長さを求めることで、身近な生活に生かしていきます。

◆単元の目標

分数の意味や表し方について理解し、簡単な場合について、分数の加法及び減法の計算の仕方を考えることができる。

◆単元の計画（全9時間）

【課題の設定（1時間）】

・クリスマスリースを作ることを知らせ、一班に何mのリボンが必要か考える。リボンのはしたの長さの表し方を考えることを通して、分数の課題をつかむ。

【情報の収集（3時間）】

・紙テープのはしたの長さの表し方を考えることを通して、単位分数のいくつ分という分数の意味と表し方を知り、リボンのはしたの長さは分数で表すことができることに気付く。
・かさ(液量)についても分数表記できることを知り、その意味と表し方を理解する。
・分数は、単位分数を基にして、そのいくつ分かて表せることを理解する。

【整理・分析（2時間）】

・リボンのはしたを表す分数の数直線上への表し方を考え、整理する。
・複数のリボンのはしたを表す分数を比較し、分数の大小・相等関係を理解する。

【情報の収集、整理・分析（2時間）】

・リボンのはしたを表す同分母分数等のたし算やひき算の仕方を考え、計算する。

【まとめ、実行、振り返り（1時間）】

・クリスマスリース作りに必要なリボンの長さを求める。
・学習内容の確認を行い、単元全体の振り返りを行う。学習したことが、日常生活のどのような場面で活用できるか考える。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
算数	1	大きさをくらべ『おおきさをくらべめいじんになろう』
	1	ひきざん(2)『おたのしみかいをひらこう』
	2	かけざん(2)『目ざせ!かけざんマスター、すばやくいっぱい数えよう』
	3	あまりのあるわり算『あまった時、どうするの?』
	4	小数『社会見学コースを考えよう!』
	5	面積『佐方の公園、広さランキング!』
	5	平均とその利用『健康坂って何m?』
	6	速さ『金メダリストに勝てるかな?』
総合的な学習の時間	6	立体の体積『体積って簡単!?きまりを見つけ出そう!』
	3	安心してらせるまちづくり ～「佐方未来予想図」をつくって～
	4	安全・安心なまちづくり ～佐方っ子安全マップ大作戦～
	5	おいしいお米を作ろう ～佐方米が育つ学校～
	6	災害から、防災を考える for our future ～私たちの未来のために～

国語

第2学年

育成を目指す資質・能力

【表現する力】【協働する力】

「ぼくたち野菜づくり修行中！」

～名人に聞いて、おいしい野菜を育てよう～

教材名「かんさつ名人になろう」

【単元の概要】

生活科で自分の野菜を愛情をもって世話をする中で、児童は世話の仕方についてたくさんの疑問や不安をもつようになりました。そこで、おいしい野菜に育つよう児童は生長の様子を観察記録し、野菜名人に伝えて指示を仰ぐことを思い付きます。視点をもって観察する繰り返しの中で生長の変化に気付いたり、名人とのやりとりから伝えたいことを焦点化することの大切さを学んだりしながら、疑問を解決し立派な野菜を育てることを目指して、観察記録文を書きます。

◆単元の目標

生活科で栽培している野菜の様子を丁寧に観察し、気付いたことや分かったことを集めるとともに、観察対象の様子や自分の気付きなどが相手に伝わるように工夫して書くことができる。

◆単元の計画（全15時間）

【課題の設定（3時間）】

- 野菜を育てるうち、世話の仕方について出てきた疑問を自分たちだけでは解決できないことに気付いた児童は、野菜名人に相談しようと思いつく。どのようにすれば野菜の様子を名人にうまく伝えられるか、これまでの学習経験を振り返り、「観察記録文を書こう。それも詳しく様子が伝わるように書きたい！」と意欲をもつ。

【情報の収集、整理・分析（5時間）】

- 観察記録文を書くための取材の仕方やメモの取り方を教材文から学ぶ。
- 観点到に沿って野菜を観察しメモを取る。
- 観察記録文の書き方を教材文から学ぶ。
- メモの内容や構成について友達と話し合っ改善する。

【まとめ・表現（1時間）】

- 友達のアドバイスを基に観察記録文を書く。

【実行（1時間）】

- 野菜名人に観察記録文で野菜の様子を伝え、知りたいことを尋ねる。しかし、「まだ情報不足で十分にアドバイスできない。」と返答され、更に観察を続け詳しく記録しようとする気持ちを高める。

【情報の収集、整理・分析（1時間）】

- 観点到に沿って野菜を観察しメモを取って構成を考える。

【まとめ・表現（2時間）】

- 観察記録文を書き、友達と助言し合っ推敲する。

【実行、振り返り（2時間）】

- 野菜名人に観察記録文で様子伝え、世話の仕方のアドバイスをもらう。アドバイスどおり世話を続け、収穫後に学習を振り返ってお礼の手紙を書く。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
国語	1	〇〇はかせになろう！（読む・書く「じどう車くらべ」）
	2	大好き！レオ＝レオニ（読む「スイミー」）
	3	目指せ！江田島の食マイスター（読む・書く「すがたをかえる大豆」「食べ物のひみつを教えよう」）
	3	報告します！わたしたちの住む町（書く「気になる記号」「報告文を書こう」）
	4	なるほど意見文を書いて自分の考えを伝えよう（書く「自分の考えを伝えるには」）
	4	学校紹介リーフレットを作ろう！（読む・書く「アップとルーズで伝える」「クラブ活動リーフレットを作ろう」）
	5	新聞パズルで読み解く新聞のひみつ！（読む「新聞を読もう」）
	5	筆者の考えをとらえ、活気ある学会をめざそう（読む「見立てる・生き物は円柱形」）
総合的な学習の時間	6	オリーブ振興計画に提案します！（話す・聞く「町の幸福論」）
	3	進め！大古たんけんたい（地域の特産）
	4	広げよう 心の地図（福祉）
	5	10年後の地球を救え！（環境）
	6	オリーブでまちづくり！（地域参画）

算数

第3学年

育成を目指す資質・能力

【思考力】【主体性】【自己肯定感】

「広島大学附属小学校3年生との交流会を成功させよう」

～あまりのあるわり算～

【単元の概要】

鹿川小学校では、広島大学附属小学校3年生と交流会を行っています。広島大学附属小学校3年生から、交流会を楽しみにしているお手紙を事前にもらうように設定し、交流会への期待や意欲を高めて単元に入りました。海辺の学習で想定される課題や仲良くなるためのグループ分け等、自分の課題として考える必要性を感じながら、教科書であまりのあるわり算の計算の仕方を学んでいきます。単元のまとめでは、学んだことを生かしながら、実際の交流会でのグループ分けを等分除と包含除で考え、あまりとなる数について実際の場面をイメージさせながらどうすればよいかを考えていきます。

◆単元の目標

除法の意味について理解し、それを用いることができる。

◆単元の計画（全7時間）

【課題の設定、課題の解決（4時間）】

広島大学附属小学校3年生と、海辺の学習をしたり給食を食べたりする交流会があることを聞き、想定される課題についての解決方法を考えることで、学習に対する関心をもつ。

＜解決方法を考える＞

- ・海辺の学習で、海の生き物を採りに行く設定の問題を解く。
(カニ20匹を4匹ずつバケツに入れる場合とヤドカリ23匹を4匹ずつバケツに入れる場合について、それぞれバケツがいくつになるか考える。あまりのある除法の立式と答えの求め方を理解する。)
- ・わる数とそのあまりの数を比べ、あまりの数の範囲を考える。
(あまりの数は、除数より小さい数であることを確かめる。除法の計算の確かめの仕方を知る。)
- ・等分除、包含除であまりのある様々な文章題を解く。
(絵と問題の文例を見ながら、35個の食べ物を4皿に分けるなど、あまりのある除法の問題を作る。)

【まとめ・表現（1時間）】

- ・広島大学附属小学校との交流会でのグループの人数分けを考える問題文を把握し、条件に応じて除法を適切に活用して解く。
→鹿川小の24人を3人ずつに分けるグループをまず作り（等分除）、そのグループに広島大学附属小学校65人を分ける（包含除）という課題について考える。あまりとなる1人をどうするか考える。

【新たな課題の設定、課題の解決（2時間）】

- ・学習内容を更に発展させ、広島大学附属小学校との交流会での男女の並び方について、先にある順番を考える際にも、並び方の規則性を基に除法を活用して解決できることから、除法のよさに気付く。
(男女男女男男女男女男男・・・の20番目、55番目の順番は何になるか考える。)

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
算数	1	「ひきざんはかせになろう」～ひきざん～
	2	「形マスターになろう」～三角形と四角形～
	2	「めざせステージクリア ひき算のひっ算の仕方を考えよう」～ひき算のひっ算～
	3	「筆算なんてこわくない 学級会計もお任せ！」～たし算とひき算～
	4	「チョコレートの大きさを調べよう」～面積～
	5	「かたまりの大きさの表し方を調べよう」～体積～
	5	「不思議な数をさがそう」～倍数と約数～
	6	「ハンバーガーのセットメニューから考えよう」～ならべ方と組み合わせ方～
総合的な学習の時間	6	「修学旅行を攻略だ！」～ならべ方と組み合わせ方～
	3	「大豆はかせになろう」
	4	「わくわくえたじまん見つけ隊・広め隊」
	5	「食を見つめよう わくわく給食大作戦」
	6	「キャッチ ザ ドリーム」

算数

第6学年

育成を目指す資質・能力 【課題解決力】 【自分の思いや考えを伝える力】 【自己肯定感】

「めざせ800m走 新記録！」 ～速さの表し方を考えよう～

【単元の概要】

6年生児童全員が参加する町内陸上記録会を題材にした、「800m走で新記録を出すために、どのくらいの速さで走ればよいだろうか」という速さを比べる問題をきっかけに、速いとはどういうことか、また速さは何で決まるのか等、速さの求め方や速さへの理解を深める学習に対する課題意識をもちます。課題の解決では、単量当たりの大きさの考えを用いて速さの表し方を考えたり、速さの公式や時間・道のりを求めたりして、既習の考えを活用すれば解決できることを実感していきます。単元末では、導入時に提示した課題に取り組み、習得した知識・技能を活用して問題を解いたり、身近な日常生活にある速さを使った問題に取り組んだり、自分の歩く速さや走る速さ等を求めたりして生活や学習に生かすことができるようになります。

◆単元の目標

単量当たりの大きさの考え方をを用いて、速さ・道のり・時間の関係を調べたり、速さについて理解し、求めたりすることができるようにするとともに、生活や学習に活用することができる。

◆単元の計画（全11時間）

【課題の設定（1時間）】

- ・6年生児童全員が参加する町内陸上記録会の800m走の最高記録を題材にした問題をきっかけに、速さを比べる場面を通して、本単元の目標と学習の見通しをもつ。

【課題の解決（9時間）】

- ・距離と時間のどちらも異なる場面の速さを単量当たりの大きさの考えを用いて比べる。
- ・実際に歩く時間や走る時間を測定し、速さを比べるのに時間と距離のどちらを1にそろえた方がよいか考え、速さの意味の理解を深める。
- ・前時での学習を生かし、速さは単位時間当たりに進む道のりで表すこと、速さを求める公式を数直線や式を基に捉えさせ、どの単位時間を用いるかによって、時速、分速、秒速があることを理解する。
- ・道のり・時間・速さの関係を考え、道のりを求める公式をつくったり、速さと道のりから時間を求めたりする。
- ・時間を分数で表して速さを求めたり、道のりと時間の関係について考えたりする。
- ・作業の速さも単量当たりの大きさを用いて考えられることを理解し、作業の速さを求める。

【まとめ・表現、振り返り（1時間）】

- ・第1時で提示した学習内容を適用した問題に取り組み、単元全体での自分の学びについて振り返る。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
算数	1	「ひきざん～ひきざんのおはなしえほんをつくろう～」
	1	「ごちゃごちゃランドからすっきりランドへ くらべっこはかせになろう～どちらがながい・どちらがおおい・どちらがひろい～」
	2	「水のかさをはかろう」
	2	「ようこそ『ロボックスランド』へ ～はこを作ろう～」
	3	「わり算図かん作りにちょうせん！ ～あまりのあるわり算を考えよう～」
	3	「つなごうアート！円のもようでかべかざりプラン ～まるい形を調べよう～」
	4	「どのように変わるか調べよう」
	4	「体育館と中校庭、どちらが広いかな？ ～広さを調べよう～」
	5	「図形の角の大きさのひみつを探ろう ～図形の角を調べよう～」
	5	「2つの数の関係のひみつを探れ ～変わり方を調べよう～」
国語	3	「『じんぎボックス』で感想を伝え合おう ～サーカスのライオン～」
	4	「府中東小学校のことを紹介しよう ～広告と説明書を読みくらべよう～」
	6	「社会へ発信、新聞の投書を書こう ～新聞の投書を読み比べよう～」
総合的な学習の時間	3	「府中を見たい！知りたい！おどり隊！」
	4	「ぼくたち わたしたちの東小グリーンワールド！」
	5	「今こそ広げよう！防災プロジェクト」
	6	「私たちができるピーススマイル活動」

国語

第6学年

育成を目指す資質・能力

【思考力・判断力・表現力】

【アイデンティティ】

「読んだことを基に生き方を考え、 『ドリームナビ～海のいのち編～』を書こう」

教材文「海のいのち」

【単元の概要】

総合的な学習の時間で自己の生き方を探る単元「ドリームナビ」と関連させて大単元を構成します。様々な人の生き方から学ぶために、毎月一度ゲストティーチャーから話を聞かせていただいています。単元の導入前に総合的な学習の時間において、漁師の仕事について話を聞いたり、朝読書の時間に命シリーズの読み聞かせをしたりして、学習の種まきをします。そして、総合的な学習の時間にまとめとして作成する「ドリームナビ」（夢への道しるべ）を提示し、国語でも、自分の生き方を見つめ「ドリームナビ～海のいのち編～」を作成するという課題設定をします。登場人物の人物像や生き方を読み深める中で、登場人物の生き方や考え方をどう思うか、また自分はどういう生き方をしたいかを考え、「ドリームナビ～海のいのち編～」を作成していきます。

◆単元の目標

物語の登場人物の生き方を基に、自分自身の生き方について考えを深めることができる。

◆単元の計画（全9時間）

【課題の設定（2時間）】

- ・総合的な学習の時間で聞いた、坂町漁業協同組合の方の漁師の仕事についての話から疑問や感想をもつ。
- ・命シリーズの絵本の読み聞かせを聞く。（朝読書）
- ・総合的な学習の時間との関連や立松和平の絵本から感じたことなどに着目し、「ドリームナビ～海のいのち編～」を書くという単元を貫く学習課題（パフォーマンス課題）をもつ。
- ・場面ごとの読み深めのテーマを設定する。物語の設定状況と大まかな構成を確かめる。

【情報の収集、課題解決（5時間）】

- ・太一の父の人物像を読み取り、太一の父に対する心情をまとめる。
- ・与吉じいさの人物像を読み取り、太一の与吉じいさに対する心情をまとめる。
- ・母の太一に対する心情や太一の母に対する心情をまとめる。
- ・瀬の主に対する太一の心情の変化をまとめる。
- ・瀬の主と別れた後の太一の生き方を読み取る。

【まとめ・表現、振り返り（2時間）】

- ・「ドリームナビ～海のいのち編～」を書くを通して、登場人物の生き方や自分の生き方を考える。
- ・「ドリームナビ～海のいのち編～」を紹介し合い、感想を交流するとともに学習の振り返りをし、「ドリームナビ」（夢への道しるべ）の作成につなげる。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
国語	1	「じぶんのすてきカード」をつくって、すきなじんぶつをしょうかいしよう 物語文「おとうとねずみ チロ」
	2	「生きるためのひみつ」クイズを作ろう 説明文「ビーバーの大工事」
		心が見えるかみしばいをしよう 物語文「ニャーゴ」
	3	はたらく犬リーフレットをつくろう～命を守るためにできること～ 説明文「もうどう犬の訓練」
		感想を伝え合おう 物語文「サーカスのライオン」
		読みとったしかけをクイズにしよう 物語文「ゆうすげ村の小さな旅館」
	4	「命を伝えるポップ」をつくろう 物語文「ごんぎつね」
	5	「生き方にまなブック」をつくろう 伝記「手塚治虫」
		人物の心情や場面の状況が表れるように朗読しよう 物語文「大造じいさんとがん」
	6	中国新聞の「ヤングスポット」に投書しよう～「ヤングマン」はだれだ！～ 説明文「新聞の投書を読み比べよう」
総合的な学習の時間	3	住みよい町にするには～ぼくたちにできること～
	4	自分の命を守ろう（防災）～かけがえのない命を守るために伝えたいこと～
	5	ヒロシマから見つめよう～今、ぼくたちにできること～
	6	ドリームナビ～夢への道しるべ～

国語

第5学年

育成を目指す資質・能力

【主体性】【思考力】【自己理解】

ジャッジ・ザ・討論会！～考えを伝え合い深めよう～

教材文「立場を決めて討論しよう」

【単元の概要】

児童が楽しみにしている学校行事である野外活動の内容について討論会で話し合い、決まった内容を実際に野外活動で行います。論題は、Ⅰ「学年レクは、『ドミノ』と『ドッジボール』のどちらがよいか。」Ⅱ「野外炊飯のメニューは、『やきそば』と『ビーフカレー』どちらがよいか。」の二つです。討論会を通して、課題解決に向かって考えを出し合い、意見をまとめていく力を育成することをねらいとしています。

◆単元の目標

討論に関心をもち、収集した知識や情報を関連付け自分の考えを根拠とし、互いの立場や考えの違いを明確にしなが、計画的に討論することができる。

◆単元の計画（全12時間）

【課題の設定（1時間）】

・学校行事である野外活動に向けて意欲が高まり始めている時期に、野外活動での活動内容を討論会の論題とし、討論会で話し合ったことを野外活動に反映させたいという願いをもたせる。これまでの話し合いの仕方に対する課題を踏まえ、学習計画を立てたり単元で付けたい力について考えたりして、単元終了時のゴールの見直しをもつ。

【情報の収集（4時間）】

・討論会のモデル文（教材文）を基に、討論会の方法（論題と立場の決定、討論会の流れ方や進め方、準備など）について整理をする。
・論題について、自分の立場を主張する理由や根拠を明確にし、樹形図を用いて整理する。樹形図を基に、どのような情報を収集する必要があるかを考え、取材の対象や方法を明らかにする。
・相手からの質問を予想し、質問に対する答えを書き出し、整理することで、多面的に考えることが必要であることに気付く。取材内容を見直し、情報を関連付けながら、もう一度相手への質問を考え付箋に書き出す。書き出す際には、具体例の矛盾や問題点など自分の根拠を見直し、主張に説得力をもたせる。

【整理・分析（2時間）】

・持ち寄った考えを関連付けながら、グループで論の組み立てを再検討し、討論会に向けてより説得力のある主張となるよう論を組み立てる。

【まとめ・創造・表現（4時間）】

・各学級で討論会を行う。討論会を振り返り、学年討論会に向けて考えを再構築しまとめる。
・学年討論会を行い、野外炊飯のメニューや野外活動の内容を決定する。

【振り返り（1時間）】

・ノートやワークシートなどを基に、単元の初めに立てた「学びのモニタリング」（自己評価シート）の視点で、学んだことや学び方を振り返る。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
国語	1	「どくしょゆうびん」をしよう 教材文「おとうとネズミチロ」
	1	よんでほしいな！「むし大はっけん」 教材文「わたしのはっけん」
	2	しょうかいしよう わたしたちの学校 教材文「名人をしょうかいしよう」
	3	伝えよう すてきな発見！海田町 教材文「心にのこったことを」
	4	目指せ、よりよい5年生に向けて 教材文「報告します、みんなの生活」
	5	リーフレットで報告しよう、ぼくたち・わたしたちの「凜々子大作戦！」 教材文「伝えよう、委員会活動」
	6	わたしは随筆家～6年生の自分を見つめよう～ 教材文「随筆を書こう」
	6	ぼくのわたしのプロフェッショナルとは 教材文「プロフェッショナルたち」
理科	5	瀬野川に学ぶ 「流れる水の働き」
家庭	6	わたしは料理家～おすすめの給食献立を考えよう～ 「朝食から健康な一日の生活を」
体育	3	みんなでトライ！みんなでタグ！ 「タグラグビー」
総合的な学習の時間	3	ふしぎ発見！海田町～海田東魅力いっぱいツアー～
	4	あなたにありがとう～スマイル大作戦～
	5	「凜々子大作戦！」～3代目凜々子を広げよう～
	6	海田東小発未来をえがく～「ワールドフェスティバル」を開催しよう～

国語

第4学年

育成を目指す資質・能力

【主体性】【思考力】【自己理解】

「くらべてなっとく!『和』と『洋』」

教材文「くらしの中の『和』と『洋』」

【単元の概要】

児童は、「くらしの中の『和』と『洋』なるほどブック」を作ることを目的として、生活の中の「和」と「洋」のものの中から、比べるものと比べる観点を決め、図鑑や事典を調べ、必要に応じて文章を引用したり要約したりして、「くらしの中の『和』と『洋』なるほどブック」を作ります。さらに、各自が作ったブックを交流することを通して、「和」と「洋」それぞれのよさや違いに気付いていきます。

◆単元の目標

読み取ったことを基に、「和」と「洋」を比較しながら、理由や事例を挙げて文章を書くとともに、調べたことを紹介したり自分の考えを述べたりするために、文章の必要な部分を引用したり要約したりすることができる。

◆単元の計画（全13時間）

【課題の設定（1時間）】

- ・くらしの中の「和」と「洋」クイズを行い、「和」と「洋」の違いに関心をもつとともに、「くらしの中の『和』と『洋』なるほどブック」を作るという学習のゴールを確認し、必要な学習活動や単元で付けたい力について考える。

【情報の収集（7時間）】

- ・教材文の段落構成を捉えることで大まかな内容を把握するとともに、「和室」と「洋室」の過ごし方や使い方の観点で比較することにより、よさや違いを見付け、それぞれの特色や利便性を理解する。
- ・「和室」と「洋室」のよさや違いについて、ブックに表すために、自分の考えを例示するための必要な部分を、教材文から引用したり要約したりしながらまとめる。
- ・自分の生活や体験を振り返り、「衣食住」の中からブックに表したい課題を決め、図鑑や事典を活用して調べ、「和」と「洋」を比較するための根拠となる理由や事例を収集する。

【整理・分析（1時間）】

- ・「和」と「洋」の題材を決めて収集した情報を、事例を挙げながら、よさや違いの観点で、マトリクス表に整理する。

【まとめ・創造・表現（3時間）】

- ・「和」と「洋」のそれぞれのよさや違いが分かるように事例や理由を挙げながら要点をまとめ、ブックに表す。
- ・完成したブックを友達と交流し、それぞれが見つけた「和」と「洋」のよさや違いを交流するとともに、友達のものを見方や考え方の違いに気付く。

【振り返り（1時間）】

- ・単元全体を振り返り、「和」と「洋」について考えることを通して、自分のもの見方や考え方の変容や、ブックづくりを通してできるようになったこと、今後に生かしたいことを考える。
- ・「くらしの中の『和』と『洋』なるほどブック」コーナーを、校内（図書室など）に設置し、教職員や全校児童や保護者に紹介する。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
国語	1	「夏休みの思い出発表会をしよう」～はなしたいな ききたいな～
	1	「オリジナルじゃんけんであそぼう」～じゃんけんやさんをひらこう～
	2	「遊びのやくそくを話し合おう」～みんな遊びを決めよう 2組がもっとなかよくなるために～
	3	「伝えたい瀬野川の魅力」～案内の手紙を書こう～
	5	「4年生や5年生に委員会活動を伝えるリーフレットを作ろう」～伝えよう、委員会活動～
	6	「南小体力アップ 大作戦!」～資料を生かして呼びかけよう～
	6	「文章を読んで考えたことを先生たちに伝えよう」～イースター島にはなぜ森林がないのか～
総合的な学習の時間	3	わたしは まちの ものしりはかせ ～遊んで 食べて 調べて 楽しい瀬野川～
	3	みんなえがお「南小ふるさと館」を作ろう!
	5	海田のお米再発見!～われら お米アピール隊～

海田南小学校「課題発見・解決学習」HP アドレス

<http://kaitaminami-e.ed.jp/learninginnovation/index.html>

算数

第4学年

育成を目指す資質・能力

【課題を解決する力】【共に学ぶ力】

「野外活動はこればっちり！」(小数のかけ算とわり算)

【単元の概要】

単元の目標として小数の仕組みとその計算の仕方を理解し、単元全体を通して野外活動の場面に関わる小数の問題解決に生かしていきます。導入の場面では、「野外活動に持参する水の量を計算する」というゴールとなる課題を示すことで、一人一人が自分のこととして問題を捉え、目標や見通しをもって課題が解決できるようにします。計算の仕方を理解するだけでなく、なぜそうなるのかを考え友だちの考えと比較しながら協働して学びを深めていきます。

◆単元の目標

小数×整数、小数÷整数、整数÷整数で商が小数になる場合の計算の意味や計算の仕方について理解し、それらの計算ができるようにするとともに、小数の理解を深めることができる。

◆単元の計画(全16時間)

【課題の設定(1時間)】

・ゴールとなる課題(野外活動に持参する水の量を計算して求める)を知る。単元を通して学んだことを活用して解く問題であることを確認し、学習に対する意欲をもつ。

【情報の収集(4時間)】

・オリエンテーリングに持参するお茶の量を求める問題を通して、小数×整数の計算の意味や計算の仕方を考え、友だちの考えと比較したり、そこから更に思考を深めたりする。
 ・海洋生物の観察で使うバケツのかさを求めるため、小数×整数の筆算の仕方を考え、全体で確認する。

【整理・分析(1時間)】

・いろいろな小数のかけ算の問題を解くことで、これまでの学習内容の理解を確実にする。

【情報の収集(8時間)】

・カレーに使う水の分量を求める問題を通して、小数÷整数の計算の意味や計算の仕方を考え、友だちの考えと比較したり、そこからさらに思考を深めたりする。
 ・カレーに使う1クラス分のじゃがいもの重さを求めるため小数÷整数の筆算の仕方を考え、全体で確認する。
 ・カレールウの数を求める問題を通して、小数÷整数の余りの大きさについて考え話し合う。
 ・キャンプファイヤーで運ぶ薪の重さを求め、小数÷整数でわり進む筆算の仕方や、商を概数で表す時の方法を知る。
 ・釣ったザリガニの数を比較する問題を通して小数倍の意味について知り、図などを用いることで割合の理解を深める。

【まとめ・創造・表現(1時間)】

・これまでの学習内容を活用して、導入で確認した課題を解決する。

【実行、振り返り(1時間)】

・これまでの学習内容を活用して、身の回りにある小数のかけ算やわり算の問題を解き、理解を確実にする。
 ・学習の振り返りを行う。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
算数	1	「たからばこはどこだ!!」(たしざん)
	2	「形でGO!~めざせ形マスター~」(長方形と正方形)
	2	「ふでりんからの手紙」(かけ算)
	2	「水のかさ~くらべて、はかって、おいしくつくろう~」(水のかさのたんい)
	3	「何こ入るかな?~L字のゆうわく~」(円と球)
	3	「分け方名人になって説明しよう!!~にこにこ・ドキドキ大作戦~」(わり算)
	4	「1・2・3・4どれが広い?」(面積のはかり方と表し方)
	4	「宝の地図をつくろう!!」(垂直・平行と四角形)
	5	「調理実習の材料の量を決めよう」(比例)
	6	「ブラックボックスのなぞを解こう」(文字と式)

算数

第6学年

育成を目指す資質・能力

【論理的思考力】

「めざせ！握力UPプロジェクト」(資料の調べ方)

【単元の概要】

毎年実施している新体力テストでは、その結果から課題の把握や改善への取組を行っています。本校児童の課題は「握力」で、握力向上のための手立てを講じていく必要があります。ここでは、児童自らが具体的な数値を基にして、既習である「平均」や「単位量あたりの大きさ」を用いることや、表やグラフで表して傾向や特徴を掴み考察します。本単元の学習活動を通して、統計的な処理のよさを味わったり、児童が主体的に握力向上に取り組んだりできるようにしていきます。

◆単元の目標

資料の代表値としての平均、度数分布表や柱状グラフなどを知り、統計的に考察したり表現したりすることができる。

◆単元の計画(全12時間)

【課題の設定(1時間)】

・新体力テストの握力の記録を見て、握力に課題があることに気づき、握力をもっとつけたいという思いをもつ。まずは、自分たちと同年代の子供の握力とを比べるには、どうすればよいかを考える。

【情報の収集(1時間)】

・二つの記録についてどのような比べ方があるのかを考え、必要なデータを収集する。

【整理・分析①(2時間)】

・左右の握力の特徴を調べるときに平均を用いることがあることを理解し、平均で比べることのよさに気付く。

【整理・分析②(3時間)】

・平均以外の見方もできるのではないかという疑問から、散らばりの様子を数で表すために、数直線上に表したり度数分布表に整理したりする。

・散らばりの様子を調べると、資料全体の分布の様子や特徴が分かりやすくなることを理解する。

【整理・分析③(2時間)】

・資料の平均や散らばりの様子について調べたことを、目的に応じた表やグラフなどにまとめる。

・調べてまとめた表やグラフなどを基に、握力の記録について様々な視点から統計的に考察し、自分たちの課題について結論をまとめる。

【まとめ、実行(3時間)】

・学習したことを生かして、握力以外の新体力テストの記録についても調べる。

・学習の振り返りを行う。

・複数の統計結果から見えてきた自分たちの課題を整理し、握力等を高めていくため、今日からできる運動や生活の仕方を考える。

・2学期にも握力を測定して、1学期の記録と比べた傾向や特徴の変化をつかむという見通しをもつ。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
算数	1	「つくろう！ゆめのまち」(かたちあそび)
	2	「アイスクャンディを作ろう」(水のかさをはかろう)
	2	「ひょうとグラフ」(表とグラフ)
	3	「買い物祭りを楽しもう！」(暗算)
	4	「2分の1成人式の写真たてを作ろう」(割り算の筆算)
	5	「誕生日会のプレゼントを作ろう！」(合同な図形)
	5	「直方体や立方体のかさの表し方を考えよう」(直方体・立方体の体積)
総合的な学習の時間	3	「めざせ名人 筆豆作り」(地域)
	4	「二河川クリーン・プロジェクト」(環境)
	5	「熊野町の米作り」(環境)
	6	「守りたい 自分の命とみんなの命」(防災)

算数

第2学年

育成を目指す資質・能力

【課題発見・解決力】

【主体性・積極性】

【自己理解・自らへの自信】

「ひっ算でGO!」～ひっ算のしかたを考えよう～

【単元の概要】

社会見学でのバスの乗車人数を考えることから、これまで学習してきた筆算では答えが出せないことに気づき、どのように計算すればよいかを考えます。児童自らが作成した筆算をレベル1、レベル2と段階的に提示し、1学期に行った生活科の町探検の行程とたし算・ひき算の学習進度を重ねた「たし算マップ」、「ひき算マップ」を作成することで、児童は見通しをもって学習を進めていきます。

◆単元の目標

2位数の加法及びその逆の減法の筆算の仕方について、既習の知識や経験を結び付けて考え、計算が確実にできる。

◆単元の計画（全13時間）

【課題の設定（0.5時間）】

・社会見学が近づいてきて、バスの乗車人数を考える際に、今まで学習した筆算を使って計算をしようとする。答えが100よりも大きくなることに気づき、答えが3けたになるたし算の筆算をやってみようとする。

【情報の収集（0.5時間）】

・2位数+2位数=3位数の筆算の式を考えてつくる。

【整理・分析（2時間）】

・2位数+2位数=3位数（百の位への繰り上がりあり）や2位数+2位数=3位数（十、百の位への繰り上がりあり）、2位数+1、2位数=3位数（百の位への波及的繰り上がりあり）の筆算の仕方を見て計算する。

【まとめ・表現（1時間）】

・これまでの学習内容を活用して、社会見学のバスの乗車人数を求める。

【新たな課題の設定、情報の収集（1時間）】

・3位数の減法になる問題場面から、3けたのひき算も筆算でできるのではないかと考える。

・3位数-1、2位数の筆算の式を考える。

【整理・分析（6時間）】

・3位数-2位数（百の位からの繰り下がりあり）、3位数-2位数（十、百の位からの繰り下がりあり）の筆算の仕方を見て計算する。

・3位数+1、2位数（百の位への繰り上がりなし）、3位数-1、2位数（百の位から繰り下がりなし）の筆算の仕方を見て計算する。

【まとめ・表現（1時間）】

・これまでの学習内容を活用して問題を解決する。

【振り返り（1時間）】

・これまでの学習内容を活用して、学年の人数を比べるためにクラスごとの人数を合わせる計算をする。学習したことを振り返り、既習の知識を活用することで問題を解決することができたことや自分の成長を確かめる。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
算数	1	「どちらがひろい」
	3	「小数でカンパイ！」（はしたの大きさの表し方を考えよう）
	4	「こんなときどうする？発見！計算のきまり」（計算のやくそくを調べよう）
	5	「グラフ名人になろう！」（比べ方を考えよう（2））
	6	「この関係は・・・」（比例をくわしく調べよう）
総合的な学習の時間	3	「大すき！坂町！！～坂町のお宝見つけ隊～」
	4	「環境プロジェクト～水をみんなで守り隊～」

坂小学校「課題発見・解決学習」HP アドレス

<http://www.town.saka.lg.jp/saka-e/manabinoHenkaku/h28manabiHenkakuTop.html>

算数

第 4 学年

育成を目指す資質・能力

【課題発見・解決力】【主体性・積極性】

「道路地図から、発見！！」(四角形を調べよう)

【単元の概要】

道路地図を基に、道路の交わり方等から平行や垂直について考え、一つの道路に対して垂直や平行な道路を地図中に書き加えたり、既習の様々な図形を見付け出したりします。また、ペアやグループで学び合いながら、課題解決をしていきます。単元末には、道路地図にかかっている道路について、平行や垂直の直線の位置関係や四角形の構成要素に着目して考え、図形に対する見方や考え方を広げていきます。

◆単元の目標

図形についての観察や構成などの活動を通して、図形の構成要素及びそれらの位置関係に着目し、直線の垂直や平行の関係、台形、平行四辺形、ひし形についての理解することができる。

◆単元の計画 (全 19 時間)

【課題の設定 (1 時間)】

・道路地図を提示し、直線が交わってできる既習の図形に着目する。また、複数の道のりが等しくなるのではないかという疑問から、直線の交わり方や図形について興味・関心をもつ。

【情報の収集 整理分析 (6 時間)】

・2本の直線の交わり方を弁別する活動を通して、垂直や平行の意味を理解したり、垂直や平行な直線のひき方を考えたりし、直線を引くことができる。

【実行 (1 時間)】

・身の回りから垂直や平行になっているものを探す活動を通して、垂直や平行の興味を広げる。

【課題の設定 情報の収集 (2 時間)】

・平行な辺の組の数に着目し、四角形の特徴を捉え、分類し、平行四辺形や台形、ひし形の性質を理解する。

【整理・分析 (3 時間)】

・平行四辺形やひし形をそれぞれの四角形の約束や性質を基に作図したり作図の方法を説明したりすることができる。

【表現 (1 時間)】

・平行四辺形、ひし形、台形で平面を敷き詰めて、図形の性質を調べる活動を通して、学習内容の理解を深め、四角形についての興味を広げる。

【情報の収集 整理分析 (2 時間)】

・対角線の意味といろいろな四角形の対角線の特徴を理解する。また、対角線で分割した2つの三角形を使い、四角形をつくることことができる。

【まとめ・表現、振り返り (3 時間)】

・辺の長さ、辺の位置関係、角の大きさや対角線に着目し、条件を満たす四角形を考え、説明する。
・平行四辺形の構成要素や性質を使って、道路地図にかかっている道路などの関係について説明することができる。
・単元を振り返り、分かったこと、活用したいことなどをノートにまとめる。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
算数	1	「はかせもびっくり！あわせわざ」(たしざん)
	2	「見つけよう！新しい計算」(かけ算1)
	3	「新発見！1より小さい数」(小数)
	4	「面積調べたい！！」(面積)
	5	「形も大きさも同じ図形を調べよう」(合同な図形)
	5	「小数を使って、比べよう」(小数のわり算)
	6	「実際の大きさはどれくらい！」(およその面積や体積)

小屋浦小学校「課題発見・解決学習」HP アドレス

<http://www.town.saka.lg.jp/koyaura-e/manabi/manabi.html>

算数

第4学年

育成を目指す資質・能力

【豊かな表現力】【回復力・耐える力】【郷土を担う使命感】

「面積」 ～町内の学校のグラウンドや校舎の広さを比べよう～

【単元の概要】

町内の5・6年生が行う「陸上記録会」の会場選びから「広さ比べをしよう」という課題を設定し、解決方法を考えていく。実際に測ることができないことから、「一辺を1cmのいくつ分」に置き換えて考えさせ、「1cm²」という単位を用いて考えることよさを実感させる。その後、日常生活の中で使えるかを様々な場を設定し試す。活用問題を「校舎の床を塗るためのワックスの量調べ」とし、協働の学びの場とする。

◆単元の目標

長方形や正方形の面積を表すことに関心を持ち、求積の方法を考えることができるとともに、身の回りにある図形の面積を工夫して求めることができる。

◆単元の計画（全8時間）

【課題の設定（1時間）】

・町内の5・6年生が行う「陸上記録会」の会場として、広い場所を使いたいが、どこの小学校のグラウンドが一番広いのかが分からない。そこで、東野小、大崎小、木江小のグラウンドの広さを比べるための方法について考える。

【情報の収集、整理・分析（3時間）】

- ・方眼紙上にかかれた縮小した形の東野小と大崎小、木江小のグラウンドの面積を比べる。
- ・面積の単位（cm²）を知り、1cm²を単位にして面積を求める。
- ・長方形（木江小グラウンド）と、正方形（東野小グラウンド）の面積を求める公式を、1cm²の正方形が何個並ぶかを基に考える。その公式を使って、色々な形の面積を求める。
- ・面積の単位m²を知り、複合図形の面積（東野小の校舎と大崎上島中学校の校舎の面積）の求め方を考え、説明する。

【まとめ・表現（0.5時間）】

- ・m²を単位にして3つの小学校のグラウンドの面積を求め、陸上記録会の会場を決める。

【課題の設定（0.5時間）】

- ・もっと広い面積（大崎上島や他の瀬戸内海の島など）を求めるためにはどうしたらよいかという課題をもつ。

【情報の収集、整理・分析（2時間）】

- ・m²とcm²の単位間の相互の関係を理解する。
- ・長さの単位が異なる場合、長さの単位をそろえる方法を考える。
- ・m²とa、ha、km²の単位間の関係を理解する。

【実行、振り返り（1時間）】

- ・活用問題に取り組むとともに、本単元の学習内容の確認と評価をする。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
算数	1	「ひきざん1」
	1	「ひきざん2」
	2	「かくれた数はいくつ」
	4	「折れ線グラフ」
	5	「単位量あたりの大きさ」
総合的な学習の時間	5	「知らせよう！東野の産業のみりよく①」
	5	「知らせよう！東野の産業のみりよく②」
	6	「つなげよう東野の伝統文化」

算数

第3学年
第4学年

育成を目指す資質・能力

【課題発見力】【表現力】【多様性に対する適応力】
【課題発見力】【表現力】【自らへの自信】

第3学年 「べつべつに、いっしょに」～ハイキングに行こう～ 第4学年 「調べ方と整理のしかた」～ハイキングに行こう～

【単元の概要】

複式授業の特性を生かし、3・4年生それぞれが単元で学習したことを活用し、チャレンジ問題を解決することで単元での学習内容について理解することに加え、異学年との協同性を育てる単元となっています。チャレンジ問題では、一緒にハイキングに行くという場面を設定しています。このことを単元の始めに提示することで、児童は、課題を解決したいという気持ちを高め、それぞれの学年に応じた学びを積極的に進めていきます。

◆単元の目標

3年：乗法に関して成り立つ性質を調べ、それを計算の仕方を考えたり計算の確かめをしたりすることに生かすことができる。

4年：身近な事象を二つの観点から分類・整理し、二次元の表を用いて、その事象の特徴を調べることができる。

◆3年：単元の計画（全5時間）

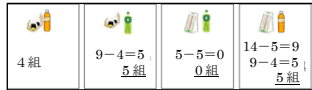
◆4年：単元の計画（全5時間）

【課題の設定（0.5時間）】ハイキングに行こう 《チャレンジ問題を提示し、学習意欲を高める》

木江小学校の3・4年生と杉本先生の14人で、大崎下島にハイキングに行こうと思います。昼食は、お店で注文します。食べ物はおにぎり200円かサンドイッチ240円、飲み物は、お茶160円かジュース160円です。希望をとると、次のようになりました。

おにぎりを選んだ人	9人
お茶を選んだ人	5人
おにぎりとジュースを選んだ人	4人

昼食代を集めると、何円になりますか。



木江小学校の3・4年生と杉本先生の14人で、大崎下島にハイキングに行こうと思います。昼食は、お店で注文します。食べ物はおにぎり200円かサンドイッチ240円、飲み物は、お茶160円かジュース160円です。希望をとると、次のようになりました。

おにぎりを選んだ人	9人
お茶を選んだ人	5人
おにぎりとジュースを選んだ人	4人

昼食には、どんな組み合わせがありますか。また、それぞれいくつずつ注文すればよいでしょう。

【情報の収集（0.5時間）】

- 6つずつあるジュースとみかんの代金を、「別々に考えて」と「まとまりを考えると」の2通りの考え方で求める。

【整理・分析（1時間）】

- 8つずつある鉛筆とキャップの代金を、「まとまりを考えると」の考えを使って $(a+b) \times c$ で求める。

【情報の収集（1時間）】

- バス代と電車代の5人分の交通費の違いを求める場面、バス代と電車代を「別々に考えて」と「1人分の違い」の2通りの考え方で求める。

【整理・分析、まとめ（1時間）】

- フェリー代と高速艇代の6人分の交通費を求める場面、 1 人分の違いの考え方を $(a-b) \times c$ を基に解く方法で求める。

【実行、振り返り（1時間）】

- 木江小3・4年生と先生の14人でハイキングに行く場面において、4年生から聞いた注文の組み合わせと値段の情報を基に、既習事項を活用して昼食代を求める。
《チャレンジ問題》※結果を4年生に伝える。

【情報の収集（0.5時間）】

- 「1週間のけが調べ」の記録から、2つの観点（けがをした場所・けがをした種類）で分類・整理された二次元の表のよみ方を知る。

【情報の収集、整理・分析（1時間）】

- 「1週間のけが調べ」の記録から、2つの観点（けがの種類・体の部分）について調べ、二次元の表にまとめる。

【整理・分析（1時間）】

- 果物の注文のアンケートの結果から、二次元の表を使って、注文した数を求める。

【まとめ・創造・表現（1時間）】

- 木江小3・4年14人でハイキングに行く場面、既習事項（二次元の表にまとめる）を使って、昼食のお弁当と飲み物の数を求める。
《チャレンジ問題》※結果を3年生に伝える。

【実行、振り返り（1時間）】

- 二次元の表を使った問題を解き、これまでの学習について振り返る。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
算数	1	くじびきゲームをしよう 1年「たしざん(2)」
	2	おはじきとりゲームをしよう 2年「かけ算(1)」
	3	ケーキが大きいのは どちら 3年「分数」
	4	ケーキが大きいのは どちら 4年「分数」
	5	そろえて比べて「山海島」 5年「単位量あたりの大きさ」
	5	体力づくりをしよう 5年「平均とその利用」
	6	体力づくりをしよう 6年「およその形と大きさ」

体育

第3学年

育成を目指す資質・能力

【協働性】【よりよく生きようとする力】

芝生と友達になろう ～体づくり運動「多様な動きをつくる運動」～

【単元の概要】

本単元の第1時で行った運動が、日々の業間運動で取り組んでいる「芝生検定」（低学年から高学年で構成された縦割り班ごとに取り組む、柔軟運動や器械運動を中心とした検定）と似ていることに気づき、この単元を通して苦手としている「芝生検定」の動きを正しく身に付けたいという思いをもちます。また、低学年に分かりやすくアドバイスをするために動きのこつを見付けるといった課題意識をもって単元に臨むことで、単元における技能の向上とともに必然性をもって思考力の育成も図っていきます。

◆単元の目標

よい動きを見合ったり、教え合ったりする活動の中で、基本的な動きを身に付けることができるようにする。また、これまでに身に付けてきた基本的な動きや新しい動きを組み合わせ、動きの質を高めることができるようにする。

◆単元の計画（全6時間）

【課題の設定（1時間）】

- ・様々な「体のバランスをとる運動」を行う中で「芝生検定」の動きと似ていると気づき、課題としている三点倒立足曲げやブリッジ片足上げ、コサックバランスの動きを全員で確認し、その動きを正しく身に付けたいという意識をもつ。また、低学年も同じように課題をもっているとの声から、「芝生検定のこつを見つけて低学年にアドバイスしよう」というゴールを目指す。

【情報の収集、整理・分析（4時間）】

- ・「体のバランスをとる運動」と「体を移動する運動」を正しく行おうとする中で、自然とグループで動きを見合ったり動きのこつを話し合ったりする。また、自分たちの考えを可視化するためホワイトボードを使ったり、ICT機器を活用したりして、動きのこつを見付け、共有することで技能を高めていく。

【まとめ・創造・表現（1時間）】

- ・単元前半で身に付けた基本的な動きを組み合わせ、難易度の高くなった多様な動きをつくる運動に取り組み、動きの質を高める。

【実行、振り返り（※業間運動）】

- ・低学年に、芝生検定の動きのこつを実際に動きと合わせてアドバイスする。
- ・自分や友達が見付けた動き方のポイントや、友達との関わりについて振り返る。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
国語	1	伝えたい！くじらぐもの楽しさを！音読発表大作戦！ 教材文「くじらぐも」
	2	好きなお話を読書郵便でとどけよう 教材文「お手紙」
	3	「民話や昔話のおもしろ発表会」を開こう！ 教材文「三年とうげ」
	4	美土里小学校の“すてき”を発信しよう 教材文「新聞を作ろう」
	5	読み手の心を引きつけるポップを書こう 教材文「広がる つながる 私たちの読書」「千年の釘にいとむ」
	6	美土里町のよさを伝えるパンフレットをつくろう 教材文「ようこそ、私たちの町へ」
総合的な学習の時間	3	美土里の自然とふれあう ～みんなの知らないトンボの楽園～
	4	だれもがつながり合う あたたかい町にしよう ～「合い」の力でつながろう～
	5	米作りから学ぶ ～美土里My 米 プロジェクト～
	6	伝統芸能から学ぼう ～美土里小6年安芸高田神楽応援プロジェクト～

国語

第4学年

育成を目指す資質・能力

【主体性】

【協働性】

「醤油新聞を作って地域の人に伝えよう」

教材名「新聞を作ろう」

【単元の概要】

前年度、児童は総合的な学習の時間において、地域に古くからある醤油店について学習しています。醤油店に対する地域の方の声をきっかけに、自分たちが知っている醤油のおいしさや醤油作りへのこだわり等を、地域の方にもっと広く知ってもらうためにはどうすればよいか、考えることから学習がスタートします。グループで同じテーマのもと、伝えたいことの中心が伝わる文章の書き方や、読み手を引き付ける見出し等について、協働的な思考の場を通して学び合い、新聞を完成させていきます。

◆単元の目標

新聞の特徴と作り方を知り、記事にすることを決めて取材をし、伝えたいことが明確になる見出しや文章を書くことができる。

◆単元の計画（全15時間）

【課題の設定（1時間）】

- ・昨年度の総合的な学習の時間の内容を想起する中で、地域の方の「醤油店の歴史や働く人の思い、商品開発のことなどはよく分からない。」という声を聞き、自分達の思いとのずれを感じる。広く地域の人に伝えたいという思いから、必要な情報を不特定多数の人に伝える手段として新聞を選択する。新聞作りに必要な学習内容を教科書から見出し、学習計画を立てる。

【情報の収集（5時間）】

- ・複数の新聞の1面を比べたり、教材文を読んだりして、新聞の特徴や新聞の作り方の手順を学ぶ。
- ・指導者が作成した新聞のモデルを見て、自分たちが作成する新聞の大きさ、割り付け等を視覚的にイメージシゴールへの見通しをもつ。
- ・昨年度作成した「醤油事典」を基に、思考ツールを活用してこれまでに調べたことを整理し、新たに紹介したいことについて話し合い、テーマを絞る。
- ・取材の方法や内容について話し合い、グループで打ち合わせや準備をする。
- ・醤油店に取材に行き、グループのテーマに沿って必要な情報を集める。

【整理・分析（1時間）】

- ・取材メモと「醤油事典」から、集めた情報を整理し付箋に書きだす。

【まとめ・創造・表現（6時間）】

- ・付箋から伝えたい情報を選び、文章の構成を考え、下書きをする。
- ・読む人を引き付ける見出しの工夫について話し合い、見つけた工夫を「<大切！>見出しのコツ」としてまとめる。グループでそれぞれが書いた文章を読み合い、見出し作りの工夫を取り入れて、読み手を引き付ける見出しを考える。
- ・指導者が作成した新聞モデルを参考にして、グループごとに割り付けを考え、下書きを基に新聞を仕上げる。

【振り返り（1時間）】

- ・友達と読み合い、感想を交流する。

【実行（※総合的な学習の時間）】

- ・地域の商業施設・公共施設等に新聞を掲示する。

【振り返り（1時間）】

- ・新聞作りを通して身に付いた力について振り返ったり、新聞を読んで地域から寄せられた声から感想をまとめたりする。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
国語	1	たのしさをつたえよう 教材名「しらせたいな 見せたいな」
	2	家族のために発明品を考えて、はっぴょうしよう 教材名「あったらいいな、こんなもの」
	3	説明のしかたをくふうして「食べ物へんしんブック」を作ろう 教材名「すがたをかえる大豆」「食べ物のひみつを教えます」
	5	ポップで伝えよう「〇〇の生き方」 教材名「千年の釘にいどむ」
	6	小田東小学校をもっとすてきな学校にするための意見文を書こう 教材名「未来がよりよくあるために」
総合的な学習の時間	4	甲田の梨を広め隊！ わくわく広報プロジェクト ～「知ってほしい甲田の梨」～

算数

第 6 学年

育成を目指す資質・能力 【思考力】【伝え合う力】

「比例」〔温井ダム(龍姫湖)の面積を求めよう!〕

【単元の概要】

総合的な学習の時間「加計小学校区の歴史をさぐる!」の単元で、ガイドマップを作成するために、温井ダム(龍姫湖)の面積を記載することになりました。しかし、いざ面積を求めようとするとその形は大きく、不定形であるため、これまでの既習である面積を求める公式を用いて求められそうにありません。大きく不定形の面積をもとめる方法を探ろうという課題を設定し、「比例関係」について学びを進めます。

単元の最終時には、この単元で学んだ「比例」に関する既習事項だけでなく、「拡大図と縮図」や「単位換算」なども用いて、温井ダムの面積を求めます。学習方法として知識構成型ジグソー法を用いることにより、一人では解決が難しい活用問題を、対話を通して解決に向かう実感をもたせることで、主体的、活動的に学び合い、考えを深めていきます。

◆単元の見どころ

比例の関係を表や式、グラフに表し、その特徴を調べることができる。また、身の回りから比例の関係にある二つの数量を見いだして問題を比例の関係をj用いて解決することができる。

◆単元の計画(全 11 時間)

【課題の設定(1時間)】

・温井ダム(龍姫湖)の面積を求めるために、不定形かつ大きな面積の図形を求めるにはどうしたらよいかを考えるという課題を設定する。

【情報の収集、整理・分析(6時間)】

- ・2つの数量について比例の関係かどうかを調べる。
- ・比例の関係を $y = \text{決まった数} \times x$ と表せることを理解する。
- ・2つの数量について比例の関係かどうか調べ、式に表す。
- ・比例の関係をグラフに表し、その特徴を理解する。
- ・比例のグラフを考察し、理解する。

【まとめ・創造・表現(3時間)】

- ・比例の関係に着目した問題を解決する。
- ・比例の関係を使った問題(速さ、拡大・縮図)を解決する。

◎「温井ダムの面積」を求める。【知識構成型ジグソー法】

比例の関係だけでなく、「拡大図と縮図」、「単位換算」などの、複数の領域に関連する活用問題を解決する。(エキスパート資料)

A…「比例の関係」

紙の重さと紙の面積は比例の関係にあることから、ダムの形に切り取った紙の重さを量ることで、ダムの形の紙の面積が求められる。

B…「拡大図と縮図」

ダムの形に切り取った紙は実際のダムの縮図になっているから、縮図の面積 \times (5000 \times 5000) 倍すると実際の面積が求められる。

C…「単位換算」

実際の面積を cm^2 で表すと分かりにくいから、実際のダムの広さの適切な単位変換をして分かりやすく表すとよい。

【振り返り(1時間)】

- ・比例の関係を活用することのよさを振り返り、算数を学ぶ楽しさや意義を実感する。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
算数	1	「どちらが おおい」(お楽しみ会をしよう)
	2	「かけ算(2)」(九九をつくろう)
	3	「円と球」(たからさがしをしよう)
	4	「計算のきまり」(五サー市へ行こう!)
	5	「単位量あたりの大きさ」(カーブの強さのひみつをさぐる)
総合的な学習の時間	5	「だれにでもやさしい町づくり」

算数

第3学年

育成を目指す資質・能力 【 根拠をもとにした思考・判断・表現力 】

「はしたの大きさの表し方を考えよう ～分数を使って～」(分数)

【単元の概要】

総合的な学習の時間の学習内容「パンジー栽培」と関連をもたせ、単元を貫く「課題」を設定しました。「パンジーの苗をセルトレイからポットへ移し、日当たりのよいところに等間隔に置く場合の位置を決める」といった課題や「パンジーの苗を置く位置や水やりの量を決める」といった課題を解決するために必要となる、分数の意味や表し方の基礎的な知識、加法・減法の技能・考え方を学習していきます。身に付けた算数の力を使って課題を解決することで成就感を味わわせるとともに、更に実際の「パンジー栽培」の活動意欲へとつなげていきます。

◆単元の目標

分数が用いられる場合や分数の表し方について知り、分数の意味や分数の加法及び減法の意味や計算の仕方について考えることができる。

◆単元の計画(全11時間)

【課題の設定(1時間)】

・(課題設定)

『教室で育てているパンジーのはちがあります。今日、そのパンジーのはちに、たかしくんが $3/10$ L、ゆうこさんが $2/10$ Lの水をあげました。二人合わせて、何L水をあげたでしょう。また、どちらがどれだけ多く水をあげたでしょう。』

- ・総合的な学習の時間で育てている鉢植えのパンジーの苗に二人の子供が $3/10$ Lと $2/10$ Lの水をあげた場面を設定し、合わせた水の量とちがいの水の量がどれだけになるか考える。課題を解決するためにどのような学習をしていくか見直しをもつ。

【情報の収集、整理・分析(2時間)】

- ・セルトレイからポットへ移したパンジーの苗を日当たりのよいところへ等間隔に置くという課題から間隔をテープに置き換え1mのテープを3等分した2こ分の長さが $2/3$ mであることを理解する。
- ・パンジーの水やりの場面で1Lを基にして、1Lを3等分や5等分するなど、単位分数をいくつか集めた大きさについて分数を用いて表し、分数の書き方、分母、分子などの算数用語を理解する。

【実行(総合的な学習の時間)】

- ・パンジーの苗のポットを $1/3$ m間隔で置き、 $2/5$ L分の水やりをする。

【情報の収集、整理・分析(7時間)】

- ・数直線をテープ図に置き換え、表された分数の大きさを読み取り、分母と分子の数が同じになると1と等しいことを見付ける。
- ・1mものさしや1Lマスを利用して、 0.1 と $1/10$ が等しいことや単位量を超える大きさも分数で表せることを見付ける。
- ・パンジーのポットを置き換える場面で、元の長さに注目して、 $3/4$ mと元の長さの $3/4$ の違いについて説明する。
- ・単元で設定した課題について、単位分数の何個分かで考えると整数と同じように分数の加法及び減法の計算ができることを式や図を用いて考えたり、具体物を使ったりして説明する。

【まとめ・表現、振り返り(1時間)】

・(パフォーマンス課題)

『大きくなったパンジーの苗を花だんに植えたところ、花だんの全体の $4/7$ の広さに植えることができました。のこりには、チューリップの球根を植える予定にしています。チューリップの球根は、花だんの全体のどのくらいの広さに植えることができますか。』

- ・本単元で学習したことを使いパフォーマンス課題に取り組み、本単元の内容について振り返る。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
算数	1	ひきざん (くりさがりがあるひき算)
	2	九九をつくろう (かけ算(2))
	3	□を使って場面を式に表そう (□を使った式)
	4	広さを調べよう (面積のはかり方と表し方)
	5	面積の求め方を考えよう (三角形と四角形の面積)
	6	順序よく整理して調べよう (並べ方と組み合わせ方)
	6	形が同じで大きさがちがう図形を調べよう (拡大図と縮図)
理科	5	もののとけ方

算数

第3学年

育成を目指す資質・能力 【思考力】【共感力】

「かけ算の筆算(1) ～お世話になった方々を招いて、おもてなし会をしよう～」

【単元の概要】

単元を貫く課題を、総合的な学習の時間の学習内容「『しそ』のおいしさをもっと広めよう」「お世話になった方々を招いておもてなし会をしよう」と関連させました。「しそクッキー」作りに必要な材料を買いに行く場面で、これまで学習した乗法の計算では計算することができないことに課題意識をもたせ、この課題を解決するために必要となる3位数×1位数の乗法の計算の仕方と筆算の仕方を学習していきます。

◆単元の目標

2位数や3位数に1位数をかける乗法の計算について理解し、その計算が確実にできるとともに、適切に用いることができる。

◆単元の計画(全15時間)

【課題の設定(総合的な学習の時間として:1時間)】

- ・地域の方を招いた「おもてなし会」に向けて「しそクッキー」をつくる計画を立てる際、必要なクッキーの数や、材料の分量などを考えはじめる。
- ・これまで学習したかけ算では解決できず、大きな数のかけ算の計算の仕方を学習するという見通しをもつ。

【情報の収集、整理・分析(7時間)】

- ・クッキーを焼く枚数を調べるという課題から、 20×3 や 23×3 の答えの見付け方を考え、筆算の仕方を説明する。(2位数×1位数の繰り上がりなし筆算)
- ・おもてなし会の準備場面で、焼いたクッキーをのせる正方形の紙皿の周りにレースの飾りをつけるという課題を設定し、一辺16cmの正方形の周長を求める式とその答えを筆算で求める。(2位数×1位数の繰り上がりあり筆算)
- ・クッキー作りに必要な材料である小麦粉や砂糖の4班分の分量を調べる場面で、 46×4 、 29×4 など部分積がみな2桁になる計算や部分積が百の位に繰り上がる計算を、筆算を適用して解決する。

【課題の設定、情報の収集、整理・分析(1時間)】

- ・クッキーの材料をかうため、地域のスーパーのチラシを使って値段を調べる。これまでに学習した2位数×1位数の計算では値段が求められないことから、3位数×1位数の学習の必要性を感じる。
- ・材料の買出し場面を設定し、 312×3 の計算を、2位数×1位数の筆算を基にして考える。

【情報の収集、整理・分析(3時間)】

- ・材料の買出し場面で、 386×2 や 937×4 など部分積に繰り上がりがある場合の計算を、2位数×1位数の筆算を基にして考える。
- ・スーパーでの買い物途中で3口の乗法場面に出会うことを設定し、3口の乗法を式で表したり、まとめて考えたりすることができることを知る。

【実行(1時間)】(パフォーマンス課題)

- ・2位数(3位数)×1位数の筆算のかけ算を利用して、クッキー作りに必要な材料をかう場合の代金を求め、単元を貫く課題を解決する。

【新たな課題の設定、情報の収集、整理・分析(2時間)】

- ・これまで学習したことを利用して、「□の3倍は△」「△は□の何倍か」など、身の回りの様々なかけ算場面の問題を解決する。

【まとめ、振り返り(1時間)】

- ・本単元の内容について振り返る。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名	
算数	1	なんじなんぶん	～ようこそ小学校へ～
	2	3けたの数	～かいものにいこう～
	2	水のかさのたんい	～バケツをもって、川たんけんにいこう～
	2	分数	～ありがとうの会をひらこう～
	3	三角形と角	～美しく整った三角形でお祝いしよう～
	4	垂直・平行と四角形	～ドッジボール大会に向けて特訓!～
	4	小数のわり算	～「配膳スピードアップで残菜0」作戦～
	5	比べ方を考えよう(2)	～よりよい八重東小をめざして～
6	資料の調べ方	～北広島町をもっと元気にしよう～	

八重東小学校「課題発見・解決学習」HP アドレス <http://www.khiro.jp/yaehigashi-es/tasikana.html>

国語

第4学年

育成を目指す資質・能力

【課題発見・解決能力】【協調性】

「松井さんはてなブック」を作ろう

教材文「白いぼうし」

【単元の概要】

「白いぼうし」を読んで不思議に思ったことを交流しながら、考えていきたい「なぞ」を設定します。それをグループや全体で本文を根拠にしながら話し合い、解決していきます。解決したものは、「松井さんはてなブック」にまとめ、図書室に置き、全校児童が読めるようにします。

◆単元の目標

物語の中心人物の性格や描かれた情景などについて、叙述を基に想像して読み、内容の理解を深めるとともに、感想を発表し合い、一人一人の感じ方の違いに気付くことができる。

◆単元の計画（全8時間）

【課題の設定（2時間）】

- ・児童会の図書委員から、「学校で行う『秋の読書祭り』で、みんながファンタジーを読みたくなるような取組を、3年生に提案してほしい。」という依頼を受ける。
- ・教科書の「白いぼうし」を読んで自分達が不思議に思ったこと（初発の感想）を交流するとともに、「白いぼうし」以外の「車の色は空の色」シリーズ作品を読み、考えてみたい「なぞ」（ファンタジーの物語のしかけ）がたくさんあることに気付く。
- ・この「なぞ」を集めた「松井さん（シリーズ共通の登場人物）はてなブック」を作り、学校図書館に置くとともに、「秋の読書祭り」で紹介しようという学習計画を立てる。

【情報の収集、整理・分析（2時間）】

- ・「白いぼうし」のグループごとに決めた「なぞ」について、本文の叙述を根拠にしながら話し合う。

【まとめ・創造・表現（1時間）】

- ・他グループに自分たちの「なぞ」に対する答えを発表し、交流しながら考えを深める。
- ・グループの「なぞ」に対する答えも聞き、「松井さんはてなブック」にまとめる。

【情報の収集、整理・分析（1時間）】

- ・全体で決めた「なぞ」について、本文を根拠にしながら話し合う。

【まとめ・創造・表現、実行（1時間）】

- ・「車の色は空の色」シリーズの「白いぼうし」以外の作品を読み、松井さんの人柄を捉えながら、ファンタジーとしての物語のしかけを読み、「なぞ」と答えを「松井さんはてなブック」にまとめていく。

【実行、振り返り（1時間）】

- ・初発の感想と学習後の感想を比較し、より深く捉えた松井さん像を「松井さんはてなブック」にまとめる。
- ・「松井さん（シリーズ共通の登場人物）はてなブック」を作り、学校図書館に置くとともに、「秋の読書祭り」で紹介する。他学年の児童の感想をアンケート等で把握し、これからも様々な読書活動をしていこうという思いを高める。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
国語	1	できるようになったよ おんどくげきをしよう 「物語文 たぬきの糸車」
	2	スーホに手紙で伝えよう 「物語文 スーホの白い馬」
	3	民話、昔話のなぞときカードを作ろう 「物語文 三年とうげ」
	4	「自分物語」を書こう 「物語文 プラタナスの木」
	5	ドキュメンタリー番組をつくろう 「物語文 わらぐつの中の神様」
	6	登場人物の生き方についての考えを交流しよう 「物語文 海のいのち」
社会	3	工場ではたらく人びとの仕事
	4	なくそう、こわい火事
	5	自動車工業のさかんな地域
	6	国力の充実をめざす日本と国際社会
生活	1	つくろう あそぼう
	2	うごく おもちゃランドをつくろう
総合的な学習の時間	3	西野の宝『梅林』を多くの人に知ってもらおうプロジェクト
	4	『学びの森』を楽しくしようプロジェクト
	5	未来につなごう 『西野川』プロジェクト
	6	広めよう『わたしたちのやっさ踊り』プロジェクト

西小学校「課題発見・解決学習」HP アドレス

<http://www.city.mihara.hiroshima.jp/site/es-nishi/kyouikukennkyu.html>

社会

第3学年

育成を目指す資質・能力【課題発見力】【論理的思考力】【コミュニケーション能力】【主体性】

店ではたらく人びとの仕事

【単元の概要】

各家庭の買い物調べの結果の交流を通して、「どの家庭もスーパーマーケットの利用が一番多い。」という結果に児童は疑問をもち、人々を引き寄せるスーパーマーケットのひみつを探していきます。家の人への聞き取りやスーパーマーケットの見学を通して、消費者と販売者の両方の立場から「販売」という仕事にせまり、販売者の工夫について考えていきます。

◆単元の目標

買い物調べの結果から全体的な傾向をつかみ、学習課題を設定し、予想を立て課題解決の見通しをもつ。消費者への聞き取り、スーパーマーケットの見学を通して、消費者と販売者の両方の視点からスーパーマーケットの仕事の工夫について多角的に捉えることができる。

◆単元の計画（全12時間）

【情報の収集、整理・分析、課題の設定（2時間）】

- ・家の人が、どの店で、どのような品物を買っているのか調べる。（家庭学習で1週間）
- ・各家庭の買い物調べの結果を地図やグラフにまとめることを通して、各家庭の買い物の傾向をつかみ、「三原市にはたくさんの店があるのに、なぜ多くの客がスーパーマーケットを利用するのか」という単元を通じた学習課題を設定する。学習課題に対する予想を考え、何をどのような方法で調査するかという学習計画を立てる。

【情報の収集、整理・分析（8時間）】

- ・スーパーマーケットを見学し、お客さんがたくさん来るような店内の工夫を探る。
- ・同じ商品でも少量パック、大量パック、ばら売りがあるなど、販売量が違う理由を考える。
- ・鮮魚、精肉、惣菜、レジなどで店員の服装が違う理由を考える。
- ・販売に直接関係のない「リサイクルコーナー」を設置している理由を考える。
- ・通常時と安売り時の玉子の価格を比べ「なぜ、売上げが少なくなるのに安売りをするのか」という課題を設定し、安売りをしても売上げが少なくなる販売の工夫を考える。
- ・複数のスーパーマーケットの駐車場の広さを比較し、「なぜ、店によって駐車場の広さがちがうのか」という課題を設定し、消費者の買い物の目的や商圏の違いを考える。
- ・商品のポップを調べ、さまざまな地域から商品を仕入れている理由を考える。
- ・購入商品の配達サービスや、インターネット販売が増加している理由を考える。

【まとめ・創造・表現（2時間）】

- ・スーパーマーケットで働く人達の工夫についてまとめる。他のお店（コンビニエンスストアなど）の工夫との共通点や相違点について考え、販売形態が違っても消費者のニーズに応じた販売者の工夫についてまとめる。
- ・たくさんのお客さんが買い物に来たくなるような店内の配置やサービスを考えて新しいスーパーの配置図を作り、販売者と消費者の両方の立場から販売の仕事についての理解を深める。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
社会	3	わたしたちのくらしとまちではたらく人びと ～店ではたらく人々の仕事～
	3	わたしたちの住んでいるところ ～わたしたちの市のようす～
	4	安全なくらしを守る ～なくそう、こわい火事～
	4	住みよいくらしをつくる ～ごみのしまつと活用～
	5	わたしたちの食生活と食料生産 ～米作りのさかんな地域～
	5	わたしたちの食生活と食料生産 ～水産業のさかんな地域～
	6	わたしたちのくらしと政治 ～わたしたちの願いと政治の働き～
生活	6	武士による政治のはじまり ～源氏と平氏の戦いと鎌倉幕府～
	1	じぶんで できるよ ～チャレンジ だいさくせん～
	1	なつだ あそぼう
	2	うごく うごく わたしのおもちゃ ～あつまれ！おもちゃフェスティバル～
	2	大きなあれ わたしのやさい

国語

第5学年

育成を目指す資質・能力 【思考力・表現力】

「世界でいちばん〇〇〇～マイ物語を作ろう～」

教材文 「世界でいちばんやかましい音」

【単元の概要】

教師が創作した物語の読み聞かせを通して、物語創作に関心をもち、「読み手を引きつけるような物語を作るには、どうすればいいのだろう。」という本質的な問いをもたせます。そして、自分で物語を創作してクラスの友達や下級生に読んでもらおうという学習課題を設定します。物語を創作する際は、「マイ物語プラン」を使って物語の構成やストーリーを計画しながら教材文を読み深めていきます。児童が目的意識をもち、物語を主体的に創作していくことのできるおすすめ単元です。

◆単元の目標

構成のおもしろさに興味をもち、物語の構成や反復表現、擬音語の効果を捉えて、人物相互の関係や心情の変化、場面の描写のおもしろさを意識しながら読んだり物語を書いたりする。

◆単元の計画（全8時間）

【課題の設定（1時間）】

- ・教師が創作した物語（設定部分）を聞いて、マイ物語「世界でいちばん〇〇〇」を作りたいという意欲をもち、学習の見通しをもつ。
- ・教材文「世界でいちばんやかましい音」の全文を読み、物語のあらすじやおもしろさをつかむ。

【情報の収集（2時間）】

- ・物語の基本構成を知り、教材文の出来事を整理して「設定」、「展開」、「山場」、「結末」に分け、物語の展開を捉える。
- ・4つの構成をもとに、教材文のあらすじをまとめる。

【整理・分析（2時間）】

- ・教材文の「設定」と「結末」の部分と比較し、物語全体の構成や役割を考える。
- ・教材文の「結末」と教師の創作した物語（結末部分）を読み比べる。
- ・教材文の「展開」と「山場」の部分の役割を考えながら読む。
- ・教材文の「山場」と教師の創作した物語（山場部分）を読み比べ、「山場」に必要なポイントをつかむ。

【まとめ・表現（2時間）】

- ・「マイ物語プラン」にマイ物語の構成を考える。
- ・物語の構成や反復表現、擬音語等を意識しながらマイ物語を創作する。

【実行、振り返り（1時間）】

- ・できあがった物語を友達同士で交流し、単元の学習を振り返る。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
国語	1	「おはなしのすきなところを見つけよう」 物語文 スイミー
	2	「むかし話の紙しばいをせいこうさせよう」 物語文 かきこじぞう
	3	「音読で感動を伝えよう！～斎藤隆介の世界～」 物語文 もちもちの木
	4	「くらしの中の和と洋ブックを作ろう！」 説明文 くらしの中の和と洋
	5	「土堂地区の空き家問題の解決方法を話し合おう」 立場を決めて討論をしよう
	6	「総合的な学習の時間のすばらしさを市民に伝えよう」 新聞の投書を読んで意見を書こう
算数	1	「みんなでつくろう！けいさんデパート～のこりはいくつ？ちがいはいくつ？～」 ひき算
	2	「家を建てよう～いろいろな四角形を生かして～」 いろいろな四角形
	5	「平均！このペースで大丈夫？～オリジナル問題を作ろう～」 単位数あたりの大きさ
	6	「記録比べ～どれだけ記録がのびたかな～」 倍の計算
総合的な学習の時間	3	「お寺の魅力、再発見！」
	4	「尾道の小路復活大作戦！」
	5	「空き家問題 アクション・プラン」
	6	「提案します！尾道幸福論～課題を見つめてよりよい尾道を～」

算数

第3学年

育成を目指す資質・能力

【思考力・表現力】 【協働性】

「長江の宝物をリサーチして、伝えよう！（表とグラフ）」

【単元の概要】

総合的な学習の時間に「長江の宝物」を調べ、その結果を分かりやすく表現する方法として、算数の授業で表やグラフを学習することを知ります。「どんなグラフがよいか」、「目盛りはどうするか」等、児童が課題を設定し、主体的に解決していきます。児童が必然性をもって資料を分類整理し、表やグラフを用いて分かりやすく表したり読み取ったりすることができるようになる単元です。また、「長江の宝物」をテーマとしたこの学習は、地域を知ることを通して、児童が地域の一員として自覚をもち、積極的に地域に関わろうとする気持ちを高めることや、地域の人々の思いを知ることでもできる単元です。

◆単元の目標

身の回りにある事象について、目的に応じて観点を決め、資料を分類整理し、表やグラフを用いて分かりやすく表したり読み取ったりすることができる。

◆単元の計画（全8時間）

【課題の設定（※総合的な学習の時間：1時間）】

・総合的な学習の時間に3～6年生に「長江の宝物」についてアンケートを実施し、その結果を発信する計画を立てる。集まった資料の整理の仕方や結果を分かりやすく発信するにはどうすればよいか考える。

【情報の収集・整理分析（6時間）】

- ・「長江の宝物」についてアンケートの結果を分類整理する方法や「正」の字を使って整理するよさに気付き、集計結果を表にまとめる方法を知る。
- ・整理した表を誰にでも分かりやすくする方法を考え、丸グラフや棒グラフに表す。友達とかかわりながら棒グラフに表すことの良い点や有用性について考える。
- ・棒グラフに表しながら、項目の取り方や目盛りの大きさなど考え、棒グラフの正しいかき方を理解する。
- ・棒グラフの縦軸の数値に着目し、棒グラフが示す情報を正しく読み取る。
- ・目盛りのつけ方の異なるグラフを比較する活動を通して、それぞれの違いやよさについて話し合う。
- ・学年ごとに集計した表を一つの表にまとめる方法を考え、一つの表にまとめるよさについて話し合う。

【まとめ・表現（1時間）（※総合的な学習の時間：1時間）】

- ・学習したことを基に「長江の宝物」をより分かりやすく伝えるためのグラフを作成する。
- ・作成したグラフを掲示板に掲示し、校内に発信する。

【振り返り（1時間）】

- ・単元の学習を振り返り、単元で付いた力を振り返る。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
算数	1	「世界に1つだけのロボットをつくるう（かたち1）」
	1	「さんすうえほんを完成させよう（たすのかなひくのかな）」
	2	「まどからこんにちは！（三角形と四角形）」
	2	「たからものボックス作りにチャレンジ！（はこの形）」
	3	「弟子入り体験につけていく三角バッジを作ろう（三角形）」
	4	「大きいチョコレートをゲットしよう（面積）」
	4	「ジュースの残りはどれくらい？（分数）」
	5	「体力アップ！！達成したのは何%？（割合とグラフ）」
	6	「分数÷分数はどうやって計算するの？（分数のわり算）」
総合的な学習の時間	6	「どのルートで行けばいいのかな？（速さ）」
	3	「長江のたからもの PartⅢ～地域交流会を開いて、感謝の気持ちを伝えよう～」
	4	「尾道の魅力を探して伝えよう～日本遺産に認定されたわがふるさと～」
	5	「おのみち観光ガイド～めざせ！！おのみち観光大使！！～」
	6	「守り、伝える『長江の心』～地域に学び 地域に生きる～」

音楽

第6学年

育成を目指す資質・能力

【コミュニケーション力】

いろいろな音のひびきを味わおう「リズムをつくってアンサンブル」

【題材の概要】

放送委員会の5年生からの依頼をきっかけに、どのような演奏にすれば聴き手の心をつかむことができるかを考えます。また、録音した自分たちの演奏を聴いたり、原曲と比較したりする活動を通して、表現の工夫をしながら音を重ねる楽しさや音楽の構成についても学びながら合奏をつくり上げていきます。

◆題材の目標

楽器の音色・リズム・音楽の仕組みについて理解して、パートの役割や楽器の特徴を生かして、音の強弱や重なりを工夫しながら音楽を作ったり演奏したりすることができる力を身に付ける。

◆題材の計画（全7時間）

【課題の設定（1時間）】

・「ラバーズコンチェルト」の合奏の学習に当たり、放送委員会からの依頼「聴き手の心にぐっとくる、給食時間にぴったりな演奏を6年生にお願いしたい」を聞き、どのような演奏にすればよいのかを考え始める。

【情報の収集、整理・分析（1時間）】

・「ラバーズコンチェルト」の範奏CDを聴いて楽曲の特徴を捉え、旋律の特徴から各パートの役割について知る。
・範奏CDを聴いて曲調をつかみ、各パートにふさわしい楽器を選ぶ。
・各パートの役割について考え、全体のバランスを工夫して演奏する。

【実行、課題の設定（1時間）】

・グループ毎に発表して響きの違いを聴き合うと共に、5年生の要望に沿ったものになるようアドバイスをし合う。
・録音した演奏も聴き、自分たちの演奏に足りない視点を明確にもち、より聴き手の心にせまる演奏にするためにはどうすればよいかという新たな課題を設定する。

【情報の収集（2時間）】

・「ラバーズコンチェルト」の原曲である「メヌエット」を聴き、「ラバーズコンチェルト」との曲想等の違いを感じ取ることで、自分たちの演奏に取り入れることができる視点を探し、リズム伴奏の重要性に気付く。
・楽器の音色やその組み合わせによる響きを生かしながら、短いまとまりのあるリズム伴奏をつくり、リズム伴奏を演奏する。

【整理・分析（1時間）】

・つくったリズム伴奏を加えて、「ラバーズコンチェルト」を合奏し、修正を加える。

【実行、振り返り（1時間）】

・できた合奏を録音し、それを聴いて合奏のよさや面白さについて感じたことを振り返る。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
国語	1	合体動物図鑑を作ろう「どうぶつの赤ちゃん」
	1	場面の様子が伝わる劇にしよう「たぬきの糸車」
	2	自分たちに合った遊び方を考えよう「おにごっこ」
	3	「府中グルメ」の魅力が伝わる文章の書き方を探ろう「すがたをかえる大豆」
	4	研究者になって友達に科学読み物を紹介しよう「ウナギのなぞを追って」
	4	場面の様子に着目して読み、作品を紹介しよう「一つの花」
	5	すぐれた表現に着目して、物語のみりょくを伝え合おう「大造じいさんとがん」
	5	様々な視点から作品をとらえよう「わらぐつの中の神様」
	6	宮沢賢治の世界観に対する自分の考えを表現しよう「やまなし」
音楽	2	はくまとまりをかんじとろう「トルコ行進曲」
	6	日本と世界の音楽に親しもう「雅楽『越天楽』」
総合的な学習の時間	3	こくふのじまん
	4	だれもが住みよい町にしたい
	5	府中家具を広めよう

算数

第4学年

育成を目指す資質・能力

【思考力・判断力】

「はしたはかせⅡ ～はしたもスッキリ表そう～(小数)」

【単元の概要】

6種類のお菓子と箱の重さ（ $\frac{1}{1000}$ の位まで）の情報を基に「遠くにいるおばあちゃんに、重さ3kg以内で、よりたくさん種類の上下町のお菓子を送るにはどのように組み合わせればよいか」というパフォーマンス課題を解決することで、小数とその加法及び減法についての理解を深めていく単元です。

◆単元の目標

小数は整数と同じ仕組みで表されていることを理解し、小数の加法及び減法の計算ができるようになる。

◆単元の計画（全13時間）

【課題の設定（1時間）】

- ・パフォーマンス課題の解決のため、既習の内容（ $\frac{1}{10}$ の位までの小数）と未習の内容（ $\frac{1}{100}$ や $\frac{1}{1000}$ の位の小数）の違いに着目し、児童の言葉を基に「はしたを正確に表したり、計算したりできるようになる」という単元を貫く課題を設定する。
- ・ $\frac{1}{100}$ や $\frac{1}{1000}$ の位の数の構成や大小比較、加法及び減法の計算ができるようになることが必要だと気付く。

【情報の収集、整理・分析（5時間）】

- ・ $\frac{1}{100}$ の位までと $\frac{1}{1000}$ の位までの小数の表し方を、既習の $\frac{1}{10}$ の位までの表し方を使って、かさや長さ等の日常の事象を使った場面で考え理解する。
- ・小数の場合の数の相対的な大きさについて理解したり、大小比較の仕方を理解したりする。

【まとめ（1時間）】

- ・身の回りにある小数を探し、見付けた小数について、 $\frac{1}{100}$ の位や $\frac{1}{1000}$ の位に着目して表現する。

【情報の収集、整理・分析（4時間）】

- ・ $\frac{1}{100}$ の位までのたし算や引き算の仕方を考え、筆算で計算ができるようになったり、答えの末位の0を処理したり、末位に0があると考えて計算したりすることを、具体的な場面で考え、理解する。

【まとめ、振り返り（2時間）】

- ・ $\frac{1}{100}$ や $\frac{1}{1000}$ の位の小数の計算も、 $\frac{1}{10}$ の位までの小数の計算の考え方が使えると分かる。
- ・単元の学習を生かして、パフォーマンス課題を解決するとともに、地域社会や日常生活にある場面を数理的に処理するよさを味わう。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
算数	1	かずがふえても けいさんできる！ ～けいさんのあしあとをのこそう～
	2	かけ算のひみつをさがしに大ぼうけん！ ～新しい計算のしかたを考えよう～
	3	はしたはかせ ～はしたもスッキリ表そう～
		わけてなかよし ～分数～
	4	こんな方法でも求められるよ ～広さを表そう～
	5	面積は〇〇形から！ ～面積の求め方を考えよう～
6	文字って便利！！ ～文字を使った式に表そう～	
総合的な学習の時間	3	上下の「楽しいヨ」「やさしいよ」を世界中の人に伝えるためにいっぱい考え、本気で実行しよう～上下もり上げ隊～
	4	すべての人を幸せにするために、最後まであきらめず、24人の仲間で協力し、たくさんの人を笑顔にしよう～スマイルプロジェクト～
	5	全力！プロジェクト～農業・工業・「びかり発見！北っ子」体験活動・環境～
	6	上下の魅力を世界に伝えられるように上下を誇りに思い協力してアピールしよう。～上下アピールプロジェクト～

算数

第6学年

育成を目指す資質・能力 【思考力・判断力・表現力】 【主体性】 【自らへの自信】

「速さ」～駅伝練習のタイムを求めよう～

【単元の概要】

最高学年として駅伝の練習をリードする子供たちに、世羅高等学校の陸上競技部の生徒の記録として、走った距離は示さずタイムのみを紹介し、自分たちと同じくらいのタイムだが、同じ速さなのかと課題をもたせ、「速さ」について考えようという意欲をもたせ、単元の終盤では、全校で駅伝の練習に取り組むという実際の場面から、1年生と6年生のゴールのタイミングを同じようにするためにはどうしたらよいかという問題を見だし、これまでの学習を生かして解決していきます。また、「速さ」について学習した後、駅伝の練習の中で、目標タイムだけでなく、目標の速さを設定して、実際の自分の記録から速さを確かめたり、駅伝大会で新記録を出すためには一人がどれくらいの速さで走ると良いか考えさせたりしていきます。

◆単元の目標

速さについて理解するとともに、単位量あたりの大きさの考えを用いて、速さを比べたり、速さや道のり、時間を求めたりすることができる。

◆単元の計画（全12時間）

【課題の設定（1時間）】

・日常的に行っている駅伝の練習を想定した具体的な数値の入っていない問題「駅伝練習」を解決するために必要なことは何かを考えることで、「速さ」の学習への意欲と見通しをもつ。

【情報の収集、整理・分析（4時間）】

・「速さ」は単位量あたりの大きさの考えを用いて表せることを理解し、「速さ」の表し方への興味を広げる。
・「速さ」、「道のり」を求める公式を理解し、それを適用して、「速さ」、「道のり」を求める。

【まとめ・創造・表現（1時間）】

・「速さ」と「道のり」から「時間」を求める方法を考えて、説明する。

【情報の収集、整理・分析（3時間）】

・時間が分数で表されたときの、「速さ」の問題を考える。
・「速さ」が一定のとき、「道のり」と「時間」が比例の関係にあることを理解する。
・単位量あたりの大きさの考えを用いて、コピー機などの作業の速さの比べ方を考えて、説明する。

【まとめ、創造・表現（2時間）】

・全校での駅伝の練習を行う際、1年生と6年生のゴールが同じになるようにするためにはどうしたらよいか、「知識構成型ジグソー法」を用いて、これまで学習したことを活用し、友達と協働しながら問題を解決する。

【まとめ、振り返り（1時間）】

・まとめの問題に取り組むことで、学習内容の定着を図る。

【実行（特別活動）】

・駅伝大会で新記録を出すために、一人ずつの速さを求め、そこから目標タイムを出し、練習に取り組む。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
算数	1	ひきざん
	2	九九をつくろう
	3	円と球
	4	広さを調べよう～せらにし小学校の校舎の面積は？～
	5	図形の角を調べよう
	5	整数の性質を調べよう～リズム打ちの回数を調べて練習しよう～
	6	比と比の値～ソフトボール投げのラインをかくには？～
総合的な学習の時間	3	ふれあいネットワーク～元気いっぱいどけ隊～
	5	元気な世羅を伝えよう～せらにしのおいしさたっぷりみそ汁を作ろう～

せらにし小学校「課題発見・解決学習」HP アドレス

<http://www.edu.town.sera.hiroshima.jp/seranishi-es/index.htm>

算数

第4学年

育成を目指す資質・能力

【思考力・判断力・表現力】【協働・合意形成意欲】

「田植えをしよう」(折れ線グラフ)

【単元の概要】

総合的な学習の時間に「たくさん」、「おいしい」お米を作る方法について学習しています。算数の「折れ線グラフ」の学習を通して、気温の変化等を考察することで、総合的な学習の時間での学習の更なる追究を進めていきます。

◆単元の目標

折れ線グラフの特徴を理解し、折れ線グラフを読んだりかいたりすることができる。折れ線グラフに表すよさを実感して進んで折れ線グラフに表したり、身の回りにある折れ線グラフを活用して、変化の様子がよく分かるグラフにつくり変えるための方法を考えたり、変化の特徴を傾きから考えたりすることができる。

◆単元の計画（全5時間）

【課題の設定（配当時間外）】総合的な学習の時間

・児童は総合的な学習の時間で田植えに取り組んでいる。田植えを地域の田で経験するとともに、自分の稲をバケツに植えて育て始めたところである。児童は、「たくさん」、「おいしい」お米を取るにはどうしたらよいか考え、地域の方から聞き取ったり、調べたりする中で、一日の中で地域の人がどのような時間帯にどんな仕事をさせておられるのか児童は興味を抱いているところである。

【情報の収集・整理分析（3時間）】

・理科で学習した1日の気温の変化を表した折れ線グラフから、折れ線グラフは伴って変わる二つの数量の変化の様子を表すことができることを理解する。
・田植えをした地域の気温の変化を整理した表を各自で折れ線グラフに表す。
・前時でかいた各自の折れ線グラフを周りの友達と比較し、同じ表から折れ線グラフに表しているのに違って見える理由を説明する。

【まとめ・表現（1時間）】

・実際にかき直したグラフと元のグラフを比較し、どのようにかき直したのか説明することを通して、適切な一目盛りの大きさを設定することで変化の様子をはっきりと示すことができることに気付く。

【まとめ・振り返り（1時間）】

・田植えをした地域の1日の気温の変化の特徴を読み取り、地域の人々の1日の時間の使い方との関連について考える。
・この単元の学習内容や方法について振り返ることを通して、折れ線グラフの有用性を実感したり、進んで生活や学習に生かそうとしたりする。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
社会	4	「エコ技 IPPON グランプリ！」(命とくらしをささえる水)
	5	「住むならどこに？暮らしのおすすめガイドを作ろう！」(さまざまな土地のくらし)
	6	「三和小版！当時の行い&ツッコミスごろくを作ろう！」(貴族の政治とくらし)
算数	1	「あきまつりをひらこう」(たしざん②)
	2	「エコキャップアート大作戦」(かけ算②)
	3	「計算好きなナマズ大王をたおせ！」(1けたをかけるかけ算の筆算)
		「神石高原ふるさとセットを作ろう」(重さ)
		「学習発表会を成功させよう！」(あまりのあるわり算)
	4	「どんな商品が売れるのかな？」(調べ方と整理の仕方)
	5	「かるた大会をしよう！」(式と計算)
「なんでもランキング！」(単分量あたりの大きさ)		
6	「駅伝チームの実力を分析しよう！」(資料の調べ方)	
生活	1	「にこにこいっばいだいさくせん！」
総合的な学習の時間	3	「ふるさとを探検しよう！」
	4	「Let's go 米作り」
	5	「日本ミツバチを育てよう！」
	6	「神石牛を有名にしよう」

算数

第5・6学年

育成を目指す資質・能力

【主体性】【論理的思考力】【自己理解】【自らへの自信】

平和への祈りをこめて、折り鶴アートを作ろう！！

～＜5年 単位置あたりの大きさ＞ ＜6年 速さ＞～

【単元の概要】

来年度の社会見学で、平和記念公園に寄贈する「折り鶴アート」を作成する計画を立てています。5年生は、単位置あたりの大きさの学習を活用して、先生が考えた二つの案のどちらが条件に合うのかを選び、6年生は速さの学習を活用して二人の先生の折り方から速く折ることができる先生を選び、美しい折り鶴アートの完成を目指します。

◆単元の目標

(5年) どちらか一方の単位置を「1」に揃えて、異種の二つの量の割合として捉えられる数量について、その比べ方や表し方を理解することができる。

(6年) どちらか一方の単位置を「1」に揃えて、異種の二つの量の割合である速さについて理解し、求めることができる。

◆単元の計画 (全6時間)

【課題の設定 (1時間)】

・ボードに折り鶴を敷き詰めた折り鶴アートを作るための単元課題から、条件に合った作り方の求め方や表現の仕方を考える必要があることに気づき、解決に向けての見通しをもつ。

【情報の収集 (2時間)】

・「ぎっしりと敷き詰める」というイメージをもつために、社会見学の昼食時に使うレジャーシートの数と座る子供の数からそれぞれの混み具合を考える。
・社会見学で乗るバスを選ぶ際に、2台のバスのガソリンの量と走る道のりから、「どちらかの量を『1』に揃えて比べる」という「単元をつらぬくアイデア(教科の本質)」を使って解くことのよさを知り、活用する。

【整理・分析 (1時間)】

・広島県と長崎県を比べる際に、人口密度について考え、「単元をつらぬくアイデア(教科の本質)」が活用できることに気付く。

【まとめ・表現、振り返り (2時間)】

・学習してきたことを活用して単元課題を解決する。
・パフォーマンス課題を解き、単元について振り返る。

◆単元の計画 (全8時間)

【課題の設定 (1時間)】

・ボードに折り鶴を敷き詰めた折り鶴アートを作るための単元課題から、どの先生に折り鶴作りを手伝ってもらったらよいかを考え、解決に向けての見通しをもつ。

【情報の収集 (4時間)】

・「速さ」のイメージをもつために、陸上記録会の100m走と50mハードル走のタイムを比較し、どちらが速いかを考える。
・社会見学で乗るバスを選ぶ際に、2台のバスの「速さ」、「道のり」、「時間」に着目し、「どちらかの単位置を『1』に揃えて比べる」という「単元をつらぬくアイデア(教科の本質)」を使って解くことのよさを知り、活用する。

【整理・分析 (1時間)】

・社会見学で乗るバスを選ぶ際に、時速と分速、秒速と表現の仕方が違っていても「単元をつらぬくアイデア(教科の本質)」が活用できることに気付く。

【まとめ・表現、振り返り (2時間)】

・学習してきたことを活用して単元課題を解決する。
・パフォーマンス課題を解き、単元について振り返る。

【単元課題の概要】先生が考えた二つの案

A : 1500cm²のボードに、1200羽の鶴を折る。

B : 2000cm²のボードに、1500羽の鶴を折る。

から、ぎっしりと折り鶴をしきつめられる方を選び、式・図・言葉を使って説明する。

【パフォーマンス課題の概要】単元課題の類似問題を考える。

【単元課題の概要】足りない200羽を二人の先生方に100羽ずつ折ってほしいと相談したところ、

A先生：私は、最初の40羽を50分で折り、次の30羽を30分で折り、最後の30羽を40分で折るよ。

B先生：私は、60羽を1時間で1.2羽のペースで折り、残りの40羽を1時間で折るよ。

と言われた。どちらの先生が速く100羽の折り鶴を折ることができるか、図・言葉を使って説明する。

【パフォーマンス課題概要】単元課題の類似問題を考える。

その他の主な開発単元

※単元をつらぬくアイデア(教科の本質)とは、単元全体を通して働かせる考え方であり、単元をつらぬくアイデア(教科の本質)を活用すれば、その単元のどんな難しい問題でも解けるようになるというものである。

教科等	学年	単元・題材名
算数	1	たしざんをマスターしてミニ先生になろう！～たし算(2)～
	2	このけいさん、せいはい？まちがい？教えて！～たし算とひき算のひっ算(1)～
	3	かけ算の筆算のマイスターになろう！～1けたをかけるかけ算の筆算～
	4	エリアマスターになろう～面積～
	5・6	体力向上大作戦～教頭先生を見返そう～ 平均とその利用(5年) 速さ(6年)
	5・6	クリスマス会をしよう！！ 分数(1)(5年) 場合を順序よく整理して(6年)
総合的な学習の時間	3	～ふるさと～「おいしい野菜を作ろうプロジェクト」
	4	来見の環境守り隊
	5	～福祉～「住みよい町づくりをしよう」
	6	来見の魅力を発信しよう

国語

第5学年

育成を目指す資質・能力

【話をきく力】【主体性】【コミュニケーション力】

「話し合いレベルアップ大作戦 ～話し合いをするためのコツは？～」

【単元の概要】

4年生から話し合いの仕方を教えてほしいという要望があり、自分たちの話し合いを見直します。そのことで、自分たちの話し合いの仕方について課題を発見し、改善するためのコツを見付けます。さらに、見付けたコツを使って話し合いをすることにより、そのコツの効果を実感し、自分たちの話し合いをさらに高めていこうという態度を養っていきます。

◆単元の目標

自分たちの話し合いをよりよくしようという視点で、語感や言葉の使い方に関心をもち、互いの立場や意図をはっきりさせながら、意欲的・計画的に話し合う力を付ける。

◆単元の計画（全9時間）

【課題の設定（1時間）】

・ 本学級の児童の実態として、意見が出にくい状況があり、考えを深め合えるまでの話し合いになりえていないという課題があった。それは、児童も自覚しており、「このままの話し合いではだめだ。自分たちの話し合いを高めよう。」という課題意識をもたせて本単元を設定した。まず、これまでの自分たちの話し合いを想起して課題を出し合うとともに、どんな話し合いがしたいかを交流し、単元を貫く問い「5年ろ組の話し合いをパワーアップさせるためのコツは？」を設定した。課題として「話し合いが進まない」、「意見を言わない人がいる」、「テーマから外れたことを勝手に言う人がいる」等が挙げられた。その課題を解決するために、「話し合いパワーアップ大作戦」として、どのように話し合いを進めればいいのか解決策を考えていくという学習のめあてを明確にする。

【情報収集、整理・分析（4時間）】

・ 話し合い例のシナリオを読んで、そのよさや課題を交流し、「確かめ」、「理由付け」、「受け止め」、「もどし」、「反論」等の話し合いの『コツ』を見付ける。
・ 見付けたコツを使って実際に話し合い（第1回）を行う。話し合いを終えた後、『コツ』の効果を話し合う。
・ 話し合い（第1回）のシナリオを用いて、どのコツが効果的だったか、自分たちの課題を解決するにはどうすればよいのかを話し合い、代表者による話し合い（第2回）を行う。代表者以外の児童は、どんなコツを使えばどんな効果があるのかについて考えながら話し合いを聞き、意見を交流する。また、話し合いの時の雰囲気や表情、声のトーンなども重要な要素であることに気付く。
・ 代表者による話し合い（第2回）のシナリオを用いて、どのコツが効果的か、司会が自分の役割を果たしているか、話し合いの雰囲気はどうかなどについて話し合い、自分たちの話し合いに必要なことを捉える。

【実行（3時間）】

・ これまでの学習を生かして話し合いを行い、お互いのよさを交流する。
・ 4年生と合同で、話し合い活動を行う。5年生は見付けたコツを使って話し合いをし、4年生は、その話し合いを見てどんなコツがあるかを学ぶ。その後、4年生が話し合いを行い、それを見た5年生がアドバイスをを行う。

【まとめ、振り返り（1時間）】

・ 自分たちの話し合いのどこがどのようにパワーアップしたか自己評価する。
・ 見付けた『コツ』を各教科の話し合いの中にどのように生かせばいいのか考える。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
国語	1	繰り返しのある本を紹介しよう！～何が繰り返されてる？～ 物語文「ずうっと、ずっと、大すきだよ」
	2	分かりやすく説明書を書こう～どんな説明の仕方がいいかな？～ 説明文「しかけカードの作り方」「おもちゃの作り方」
	3	感想文を書こう～ちいちゃんにとってかげおくりはどんなものだったのだろう？～ 物語文「ちいちゃんのかげおくり」
	4	手紙を書こう～ごんや兵十にどんな言葉をかける？～ 物語文「ごんぎつね」
	5	表現効果の解説書を作ろう～表現の効果はどれくらい？～ 物語文「大造じいさんとガン」
	6	新しい暮らし方を紹介しよう～「自然に学ぶ暮らし」とはどんな暮らしだろう？～ 説明文「自然に学ぶ暮らし」
総合的な学習の時間	4	三次の伝統工業を知ろう～三次人形に込められた願いを多くの人に伝えるには？～

算数

第4学年

育成を目指す資質・能力 【表現力】【主体性】

「折れ線グラフ」～お天気当てクイズ大会をしよう！～

【単元の概要】

理科の「天気と一日の気温」の学習において、一日の気温の変化を表した折れ線グラフを見せて天気を当てる「クイズ大会」をすることをきっかけに、気温の変化の様子を視覚的に捉えるためのグラフとは、どんなグラフなのかという問いをもちます。クイズ大会を学習のゴールとし、気温の変化を分かりやすく表すための折れ線グラフをかくにはどのような工夫があるかを自ら考え、友達に分かりやすく伝えていきます。

◆単元の目標

身の回りの事象について、目的に応じて資料を折れ線グラフを用いて表したり、その特徴や傾向を読み取ったりして、統計的な見方を身に付けることができる。

◆単元の計画（全5時間）

【情報の収集（1時間）】

- ・気温の変化の様子を分かりやすく表すグラフについて考える。
- ・複数の折れ線グラフを見て、線分の傾きと気温の上がり方(下がり方)との関係について理解する。

【課題の設定（1時間）】

- ・理科の「天気と一日の気温」の学習で晴れの日には気温の変化が大きくなることを理解した後に、晴れの日グラフなのに変化が小さい折れ線グラフを示し、分かりやすい折れ線グラフをかくにはどうすればよいか考える。

【情報の収集、整理・分析（2時間）】

- ・既習の棒グラフのかき方を基に折れ線グラフのかき方を考え、ポイントに沿って簡単な折れ線グラフをかく。
- ・同じデータを表した二つの折れ線グラフから、一目盛の大きさの違いなどの相違点や計測の仕方などの共通点を、ベン図を用いて整理することで、適切な目盛りを設定する必然性に気づき、分かりやすい折れ線グラフの表し方のポイントをまとめる。

【まとめ・表現、振り返り（1時間）】

- ・学習前後のパフォーマンス課題として、庄原市のある晴れの日気温の変化を表した折れ線を提示するが、変化が分かりにくいという意見が出たことから、どのように直せばいいか友達に説明する。その後、実際にグラフをかき直して比較し、分かりやすくなったことを実感する。
- ・この単元の学習内容や学習方法について振り返る。

【実行（※理科）】

- ・理科の天気当てクイズづくりの準備をする。理科の天気当てクイズを行う。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
算数	1	「ひきざん（1）～かしこくなる会にむけて問題を作ろう！～」
	2	「かけ算（1）～ランドセルの数はいくつ？～」
	3	「円と球～ぴったりののはこをさがそう～」
	4	「変わり方～『みんなの心を一つにする会』でロング巻き寿司作りに挑戦しよう！～」
	5	「面積～米の販売に向けて収穫量を予想しよう！～」
	6	「比例と反比例～一滴の水も大切に～」
理科	3	「電気で明かりをつけよう～クリスタルファンタジーのせつ明書を作ろう～」
	4	「ヒトの体のつくりと運動～効果的なストレッチになるようよびかけよう！」
	6	「水溶液の性質～洗濯物の汚れがよく落ちる洗剤はどれか？～」
総合的な学習の時間	4	「東城町の誇り！世界人『林英哲』さんの魅力を広めよう!! ～『千の海響』の演奏を通して地域の人に伝えたいな～」
	5	「東城水田調査隊！～お米の魅力を伝えよう～」

算数

第5学年

育成を目指す資質・能力 【課題を見つけ、追究する力】

ふるさと庄原農業活性化プロジェクト！庄原のお米の価値について考えよう！「単位量あたりの大きさ」

【単元の概要】

本単元は、庄原の農業の活性化を目指して、総合的な学習の時間と社会科、家庭科、算数科との関連を図ることによって、農業、販売、米の種類・値段といった内容に着目し、課題を発見し解決していく学習です。児童は、庄原の農業の活性化のために、庄原のお米の価値を調べアピールする活動を行います。ここでは、庄原のお米と他の地域のお米の価値とを比較するために、単位量あたりの大きさに着目し、相対的に比較する考え方が必要となってきます。総合的な学習の時間でもった課題を解決するために、算数科で学んだことを活用しながら課題解決に向けて追究していきます。

◆単元の目標

異種の二つの量の割合として捉えられる数量について、その比べ方や表し方を理解できる。

◆単元の計画（全6時間）

【課題の設定（社会）（総合的な学習の時間）（家庭）】

- ・我が国の米の生産は国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解する。（社会）
- ・1学期の総合的な学習の時間で、農業の課題の一つに、食生活の変化などから消費が減り、米の価値（値段）が昔に比べて下がっていることが挙げられたことを想起し、「庄原のお米の価値は他と比べてどうなのか」という課題をもつ。（総合的な学習の時間）
- ・庄原のブランド米を実際に食べて、感想をもつ。（家庭）

【課題の設定、解決（4時間）】

- ・総合的な学習の時間での課題を解決するために、庄原のお米の価値と他の地域のお米の価値とを比較し、その結果をレポートにまとめていくことをゴールとし、そのために必要な学習について考える。
- ・お米の重さと値段という二つの量の割合と捉えられる米の価値の比較は、既習の比べ方では比較ができないことに気づき、どちらかの量にそろえる必要があることを導き出し、それを使って問題解決をする。
- ・単位量あたりの大きさをを用いて、二つの観点から量の大きさを比べる。

【まとめ・表現（1時間）】

- ・学習した知識を活用して、お米の価値を考える方法の一つとして、値段と重さに着目した「単位量あたり」の考え方があることに気づき、考えた結果をレポートにまとめる。

【振り返り、課題の設定（1時間）】

- ・ノートやレポートを基に、身に付いた力を自覚したり、自己の学びの成果を感じたりすることを通して、自らの学びに自信をもつ。

【実行（総合的な学習の時間）】

- ・庄原の農業の活性化のために、庄原のお米のすばらしさをリーフレットにまとめ、地域に発信する。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
算数	1	チョコレートをもとのかたちにもどそう「かたちづくり」
	2	色々な形さがし「三角形と四角形」
	3	買い物に行こう「たし算とひき算の筆算」
	4	変化を表そう「折れ線グラフ」
	5	必要な情報を整理しよう「合同な図形」
	5	農活フェスティバルのリーフレットを作成しよう「割合」
総合的な学習の時間	6	色々な形の庄原焼き！どれがお得かな？「円の面積」
	3	庄原じまんをみつけよう！－「九日市」アピール大作戦－
	4	庄原に生きる人とつながろう！－「庄原焼き」アピール大作戦－
	5	「ふるさとグルメガイド」を作ろう－ふるさと庄原の農産物をアピール－
	6	庄原に誇りをもち、未来を創り上げよう－わたしたちの提案－